

令和4年度第1回袖ヶ浦市文化財審議会

1 開催日 令和4年6月2日(木)

2 開催場所 旧館3階大会議室

3 出席委員

会長	山田 常雄	委員	高橋 克
副会長	成田 篤彦	委員	笹生 衛
委員	梶原 正方	委員	濱名 徳順

(欠席委員)

委員	日塔 和彦		
----	-------	--	--

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	学芸員	鎌田 望里
生涯学習課長	高浦 正充	学芸員	助川 諒
主 幹	能城 秀喜		
副主査	石井 祐樹		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 議題

- (1) 令和4年度文化財保護事業について
- (2) 袖ヶ浦市指定文化財の候補について
- (3) 指定文化財案内板の設置について

7 報告

- (1) 令和3年度文化財保護事業の報告について
- (2) 令和3年度文化財審議会実績

(3) その他

8 議事等

※会議の進行上、「報告(3)その他 1」から開始した。

報告(3)その他

1) 郷土博物館市民学芸員郷土を学ぶ会による袖ヶ浦市寺社奉納額調査について

加藤市民学芸員：資料P23に沿って、郷土博物館市民学芸員郷土を学ぶ会 加藤氏が説明

山田会長：市民学芸員は、袖ヶ浦市郷土博物館にある、博物館と一緒に研究をしたり、事業を行ったりする団体である。郷土を学ぶ会は現在3名で活動を行っており、前々年度まで、市内に所在する道しるべ、石造物の実態調査を行い、2,300枚写真を撮影し、分布を地図に落としデータ化した。その第2弾として絵馬の調査を始めた。調査を進める中で、加藤さんからお話があったように、神社が開いていなかったり、降ろさないと裏が見えず写真撮影ができなかったりと、色々苦労されているようである。今回審議会で報告していただいたのは、調査を進めるに当たって、委員の先生方からご意見を伺い、いただいたご意見をもとに調査を順次進めていきたいということである。

笹生委員：大変ありがたい仕事だなと感じた。市民の皆さんが調査を行っているということに本当に頭の下がる思いである。今後重要になってくるのは、どのように公表するかである。この調査は、市内のどこにどのような資料があるかを把握することが目的であると思われるので、わかる範囲で調査をしてもらう形でよいと考える。それを受けた博物館がデータベース化し、公開することにより、広域的に議論が広まり、価値も高まるという効果があると思う。盗難の関係もあるので、どこまで公開するかは難しいが、少なくとも博物館でデータベース化して公開することにより、近隣市の文化財保護意識の涵養にもつながっていくと考える。博物館で公開することにより、市民学芸員のモチベーションも上がってくると思うので、博物館においてデータ管理及び発信方法について具体的に考えてもらいたい。

濱名委員：調査の時に赤外線カメラを使うと、墨で書いたものをかなり写すことができる。赤外線カメラは安価に手に入るのも、それを手に入ると便利になると思う。また、絵馬の盗難についてはそれほど心配しなくてもよいのではないかと。よっぽど古いものは話は別だが、これを見ると幕末とか明治なので、これに関してはそれほど心配はいらない。

山田会長：赤外線カメラは使っているのか。

加藤市民学芸員：使っていない。

高橋委員：絵馬とは別に写真の額が多くあるが、これは完全に外しているのか。これを絵馬にするのかどうかは意見が別れるが、とにかく奉納してあるものは撮っておいてほしい。

加藤市民学芸員：これ以外にも寄附金の額などがある。まず元のデータをきっちりと押さえておかないといけないというのが私の考えである。そのため、撮れるところは全部撮っている。

高橋委員：絵馬がかけられた位置図があるとよい。正面に5枚あったら1枚目2枚目3枚目と、どれがどこにかかっているのかがわかったほうがよい。そういうことをやっておくと、盗難が発覚する資料にもなる。ぜひこれは撮ってもらった方がよい。

笹生委員：今の話で、高橋委員が仰っていた写し込みを行う場合、博物館の方で神社などに、公的な博物館の仕事でやっていると言言ってもらえることでずいぶん違う気がする。

西原館長：ご意見ありがとうございます。いただいた意見については、対応していきたいと思う。ただし、無住で管理者がわからない寺社も多くあるので、まずは区長へ確認し、市民学芸員の活動に協力していけたらと思っている。

山田会長：博物館、場合によっては生涯学習課にも支援していただき、最後までデータを完成させていただきたい。また機会があれば、審議会で報告していただけると、今後の指定の参考資料になるかと思う。

議題（１）令和４年度文化財保護事業について

事務局：議題（１）について、資料P3に沿って説明

山田会長：ボランティアの方は保険に入っているのか。また交通費はどうか。

事務局：民間の保険と市役所の補償に加入している。また、謝礼として1日4時間作業した方に対して1,000円支払っている。

山田会長：乗用車で来ている方が事故を起こした場合の保障はどうか。

事務局：状況によるが、作業時間内であれば保険は入っている。

議題（２）袖ヶ浦市指定文化財の候補について

1)有形文化財・彫刻（仏像）

事務局：資料P11に沿って説明

濱名委員：延命寺の地藏菩薩立像と十一面観音立像については、郷土博物館の稲葉さんがお寺に交渉したところ、観るだけなら良いが動かすのは心配なのでやめてほしいとのことであった。指定のための調査は動かさないレベルの調査ではできないので、これについては時期が来たら調査を行うということでのよいのではないかと。

山田会長：No.9・10についてはお寺の方から移動が不可という話があるそうなので、優先順位を後にしておくということでもよろしいか。No.11・25の方はどうか。

濱名委員：こちらはまだ具体的には動きはない。まずは延命寺の2体の調査を考えていた。ちなみにNo.25の光福寺の不空羂索観音立像は写真で見ると、室町時代というよりは平安時代かと思われる。光福寺は明らかに妙見菩薩坐像と思われるがお像があるので、この2体については調査してもよいと思われる。

山田会長：光福寺は前に保存処理していますよね。

事務局：袖ヶ浦市史研究第20号で、元檀家総代が書かれていますが、平成28年に仏像3体とその他を修理しているそうである。

山田会長：仏像の関係は事務局で濱名委員と連絡をとって、お寺と詰めてほしい。

事務局：光福寺の仏像については写真で見ると、一面六臂にしか見えないが、むこうでは十一面と解釈している。先ほど、述べたとおり、平成28年に光福寺で修繕をしているが、その際に台座の裏から修復面が見つかった。それが昭和19年12月8日に修理をしたと書かれていたそうである。太平洋戦争が始

まって3年目なので、戦勝祈願という意味があつて、その当時に修復したのは信じがたい。他にも関係者の名前などが書いてあつたが、製作者や製作年代まではわからなかつた。

2) 有形文化財・古文書・民俗文化財について

事務局：資料P12に沿って説明

笹生委員：現在、飽富神社の年中行事のうち筒粥だけがピックアップされているが、一年のサイクルの中である程度行事が行われており、その裏付けとなるのが「唯一社頭年中行事」であり、全国的に見ても比較的稀有な例であつて、県の方でももう少し注目しても良いと思つている。その意味も含めて市の方で積極的に評価してもらいたい。吉田神道の要素とそれ以外の要素は細かく分析をしていかないといけませんが、「唯一」とついていることから吉田の影響を受けたことは間違いない。まずは現状の民俗行事群と18世紀後半のオリジナルの文字資料がセットになっていることを評価して、指定にもつていくかたちで良いと思う。吉田の要素とそれ以前の要素、明治以降の改変についてはこれだけで神道史の論文になる内容である。これについては指定しながら、あるいは指定後に評価としてやっていければ良いと思う。それ以前に、複数の年中行事が伝わっている事実とその裏付けになる古文書が残っていることに重要な意味がある。そこからまず評価していくべきだと思う。

高橋委員：古文書が残っているということは、その文書が書かれた時点で行事が行われていたことを証明するものである。神社の行事がいつから始まったのかわからないが、これであれば遡れる。これだけの資料はとても少ない。鎌倉の歴史が吾妻鏡であるように、何かあれば吾妻鏡を見ようとなるので、ここまで原形が見えるのは素晴らしい。お田植神事だけを指定しても良いが、飽富神社の年中行事の中でのお田植神事にすることにより、この古文書の重要性が示される。どちらを支持するかで異なってくるが、古文書を支持した方がよりインパクトが強い。

山田会長：飽富神社の年中行事として、お田植神事、祭礼、11月の神無月の行事を現在も行っているが、そういったものを抜き出して、年中行事の古文書と結びつけていく方が良いのではないか。これは候補の1つとして、今後も調査を進めていくということをお願いしたい。

3) 有形文化財・歴史資料の永吉台遺跡群出土「陶印」について

事務局：資料P14に沿って説明・実物を実見

笹生委員：陶印だけだと読み方が判読されていないなど難しいところがある。遺跡からは仏教関係の遺物と重要な文字資料が出土しているので、まずは永吉台遺跡群を中心に袖ヶ浦市内の古代仏教遺物群のような形にするか、もしくは永吉台遺跡群出土資料としておいて、それから追加していく形でも良いと思う。一覧表についてはよく調べていただいたが、個別に調査していくことは大変

であり、また、これだけでは扱いにくい。学史的に重要であるとともに、千葉県内、袖ヶ浦市内でもよく知られている東京ドイツ村という場所の過去の歴史に、全国的にも重要なものがあったということアピールするうえでも、永吉台遺跡群出土資料ということでまとめるのがよいと思われる。

山田会長：永吉台遺跡群はどこからどこまでか。

笹生委員：永吉台遺跡群は遠寺原地区と西寺原地区の2箇所のはずである。報告書はこの2箇所で完結させている。

山田会長：この永吉台遺跡群の希少遺物のいくつかをピックアップするのか。

笹生委員：文字資料と仏教関係資料の明確な事例をピックアップして指定するという方法が良い。

山田委員：瓦塔は図に出ているだけしか出土していないのか。

笹生委員：これだけである。部品が若干出土していた気もするが、残りの良い資料はこれぐらいしかない。

事務局：これは表裏になっており、普通の住居から出土している。

山田委員：礎石建物は見つかったのか。

笹生委員：図3を見ると、四面庇の建物が重複しているが、最初に掘立柱の建物を造り、次にそれを拡大して、その後、柱を抜いて坪事業を行っている。柱のところだけを版築して、礎石を入れている。国分寺と関係がある可能性のあるのし瓦も出土しており、量からするとおそらく薨のところだけに瓦が葺かれていたと考えられる。

山田会長：永吉台遺跡群の構成は、集落と土器生産と仏教関係ということか。

笹生委員：遠寺原地区がほぼお寺、西寺原地区がいわゆる土器生産となっている。

山田会長：そういった方向でまとめてみて、提案してほしい。

笹生委員：報告書を作成しているので、サポートしたい。

山田会長：他にご意見はあるか。

笹生委員：国史跡になった山野貝塚の出土資料は今後どういう扱いになっていくのか。

山田会長：出土遺物は指定になっていない。山野貝塚の出土遺物には破片が多く、これだという完形品がない。今後の調査で指定に耐えうる遺物が出土した場合は検討する必要があると思う。

笹生委員：了解した。

議題（3）指定文化財案内板の設置について

事務局：資料P19に沿って説明

山田会長：案内板の形については、これまで、情景に合わないような看板はやめようとか、背の小さい子どもたちも読めるような形などの意見があり、斜めの案内板の形で考えてくれてある。形はこれでよいと思われる。

文章については、帰ってからご意見もらってもよいし、今日ここでわかる範囲でご意見をもらえるか。以前の文章と比べると大きく変わっている。

事務局：以前の案内板は墓碑の案内板であるが、墓碑の説明を何もしていなかったの

で、その説明を入れている。

高橋委員：今回の文章からは削除されているが、以前の案内板にあった仙石騒動の件は
いない。

山田会長：以前この案内板を作成した方の思い入れが詰まっている。

事務局：市指定文化財神谷転の歌碑の案内板も敷地内にあり、そこには虚無僧が笛を
吹いている写真も載っている。

笹生委員：①の墓碑の干支が違っているという説明があったが、これは3人分の墓碑で
よいか。

事務局：そうである。おそらく改葬していると思われる。

笹生委員：一番古く見ても、元禄4年に作っているということでよいか。

事務局：そういうことだと思う。

笹生委員：そういう意味では、干支の誤記が時代にかかっているのであるのかなと思う。
置き基礎というのは、地面に直接置く形か。

事務局：そうである。地表面をならして箱を置いてそこに案内板を立てて、そこにコ
ンクリートを流すような形である。

笹生委員：固定はされるのか。

事務局：固定はされない。もしかしたら土葬墓があるかもしれないので、置き基礎と
した。

笹生委員：了解した。

事務局：これまで掘ったところは、たまたま当たらなかったと思う。もし可能であれ
ば、お坊さんの名前が読めないので、教えていただきたい。

濱名委員：例えば和尚というのも「おしょう」と呼ぶところもあるし、「わじょう」と
いうところもあるし、「かしょう」もある。宗派によって異なり、まして虚
無僧であるのでどのように呼ばれていたかわからない。

笹生委員：少なくとも称号とお坊さんの名前が切れるところくらいは示しても良いかも
しれない。

事務局：和尚「おしょう」というふりがなの確証はないということか。

笹生委員：禅宗の表記は「おしょう」で良いのではないか。

梶原委員：「おしょう」でよいと思う。首座「しゅざ」と書いてあるが、禅宗では「し
ゅそ」と読む。「品位」は一般的には霊位という意味になる。

山田会長：他に文章の修正はないか。

高橋委員：虚無僧の説明があるので、図でも入れたほうがよいのではないか。

山田会長：虚無僧の図は、神谷転石碑の案内板に載っている。

事務局：20メートル位離れたところにある。

笹生委員：文章にいれてほしいのは、なぜここに虚無僧の墓があるのかということであ
るが、書き方としてはこういう風になってしまう。虚無僧の宿になる寺があ
ったからということになるか。

濱名委員：西暦の入れ方はこれでよいか。

笹生委員：普通だと、例えば、文政4年と書いてその下にカッコで西暦を入れる。以前
の案内板はカッコの中に年が入っている。これは統一した方がよい。

山田会長：明治元年は良いのか。

笹生委員：元の下に年を入れて、年の下に西暦が入る。

山田会長：今まではどうしていたのか。

事務局：古い案内板だと、例えば延宝5年（1677年）のような表記である。

山田会長：最近製作した案内板の表記はどのようになっているのか。

事務局：昨年度製作した案内板では、調査年の表記は今回の案の表記となっている。

山田会長：案内板によって違うのもよくないので、今まで案内板を確認してほしい。

成田委員：この案内板の説明では、一般の人が読んだときに、市の指定になった価値が読み取れない。

高橋委員：虚無僧の宿というのは全国で数箇所しか見つかっていないが、それが袖ヶ浦にあったということが大事である。

笹生委員：全国的にも残っているのが珍しいというような文章を一文入れても良いかと思う。

山田会長：全国で数少ないお寺の一つであるとか、どこかで入れられないか。

笹生委員：虚無僧はわかるが、なぜ袖ヶ浦に虚無僧のお墓があって、それが指定になるのかという理由があったほうがよい。

山田会長：神谷転の案内板には珍しいなどと記載されているか。

事務局：仙石騒動について書かれており、珍しいという記載はなかったと思われる。

高橋委員：虚無僧の墓碑というより、住職の墓ではないか。

笹生委員：松見寺のお坊さんのお墓である。

事務局：墓碑の銘文を見ると、松見寺のお坊さんだとわかるのが、③の方くらいかなと思う。あとは書いていない。

笹生委員：この説明だと諸国を回って、ここで客死したなど、虚無僧のイメージになってしまうが、おそらく死んでいるタイミングをみると、20～30年ぐらいおきに亡くなっており、一世代ずつ位だから、重葬の可能性もありえる。虚無僧寺の住職のお墓の可能性もある。

濱名委員：虚無僧でも死ぬまで全国を歩いていたわけではないので、どこかに落ち着いて亡くなった可能性もある。

山田会長：指定の価値などが書かれていないので、今回いただいた意見や博物館の虚無僧の展示を参考にして、次回提案してほしい。

事務局：承知した。考えてみる。

報告（1）令和3年度文化財保護事業の報告について

（2）令和3年度文化財審議会実績について

事務局：資料P29～32に沿って説明

山田会長：次は、先に報告（3）その他の3）の説明をお願いしたい。

報告（3）その他

3）令和4年度袖ヶ浦市文化財審議会の日程について

事務局：資料P27に沿って説明

笹生委員：3月2日（木）だけ、場合によって欠席をさせていただく。

2）率土神社の棟札について

事務局：資料P25、26に沿って説明

山田会長：指定をしてほしいということであるが、率土神社にはすでに指定になっている「率土神社縁起」がある。今回は棟札が出てきたが、現在の建物自体は新しい。だから何で今やるのかもわからないし、字が間違っているのもあるし、正と写で間違っている部分もある。写しがある棟札がよくあるのかと聞かれています。が、あまりない。全く同じものを作る意味がわからない。

高橋委員：紙に写すことはあるが、全く同じものを作ることは意味がない。

事務局：棟札としては大きいと思われる。90センチ級である。

濱名委員：1mくらいの棟札はあるので、大きすぎるということはない。読みづらくなったので新たに作ったということも考えられる。

高橋委員：裏面の板には乗せてあるのか。

事務局：おそらく、釘で貼り付けていると思われる。

笹生委員：裏面に墨書はなかったのか。

濱名委員：おそらく書いていなかったか、書いてあったとしても読めなかったと思われる。また、それほど古い棟札ではない。

笹生委員：袖ヶ浦市で棟札だけの指定はあるのか。

山田会長：棟札の指定はない。

高橋委員：通常、棟札は建物の附で指定される。

濱名委員：中世の棟札であれば指定されているものはあるかもしれないが、江戸時代のものかどうか。率土神社が袖ヶ浦市にとってどれほど重要か、また内容が重要かによって決まってくるのではないか。

山田会長：指定文化財である「率土神社縁起」との関係を考える必要もある。率土神社縁起よりも古い可能性のある「埴安宮」の名称が記載されているということであるが、これについてはどうか。

笹生委員：埴安彦、埴安姫は、古事記に出てくる土の神様であり、だから率土神社である。

事務局：埴安姫は率土神社の祭神である。

濱名委員：一番上に卍が据えられているが、別当寺という可能性はあるのか。

笹生委員：通常、古事記の神様が出てくるのは国学が入ってきてからのことが多く、18世紀以降になってくると出てくる。それ以前に卍が出てくるということは、神仏習合的な名称があってもよいと考えられる。「率土神社縁起」では「率土明神」と書かれているが、そちらのほうが本当は古いのかもしれない。延宝年間頃は古事記の刊本の出始めてくる頃なので、全く見てないことはないと思われるが、微妙な時期である。

山田会長：事務局で一回実物を見て、話を聞いて、継続審議にしてほしい。

以上

令和4年度 第1回袖ヶ浦市文化財審議会資料

令和4年度 第1回袖ヶ浦市文化財審議会 会議次第

日時 令和4年6月2日(木)
場所 袖ヶ浦市役所旧館3階大会議室

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 令和4年度文化財保護事業について
 - (2) 袖ヶ浦市指定文化財の候補について
 - (3) 指定文化財案内板の設置について
- 5 報告
 - (1) 令和3年度文化財保護事業の報告について
 - (2) 令和3年度文化財審議会実績
 - (3) その他
- 6 閉会のことば

目 次

第24期袖ヶ浦市文化財審議会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
袖ヶ浦市文化財の保護に関する条例（抜粋）・・・・・・・・・・	P 2
次第4 議題	
（1）令和4年度文化財保護事業について・・・・・・・・・・	P 3
（2）袖ヶ浦市指定文化財の候補について・・・・・・・・・・	P 9
（3）指定文化財案内板の設置について・・・・・・・・・・	P 19
次第5 報 告	
（1）令和3年度文化財保護事業の報告について・・・・・・・・	P 29
（2）令和3年度袖ヶ浦市文化財審議会実績・・・・・・・・・・	P 32
（3）その他	
郷土博物館市民学芸員郷土を学ぶ会による袖ヶ浦市寺社奉納 額調査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 23
率土神社の棟札について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 25
令和4年度袖ヶ浦市文化財審議会の日程について・・・・	P 27

第 2 4 期袖ヶ浦市文化財審議会委員名簿

氏 名	担当分野	備考
やまだ つねお 山田 常雄	有 形 記念物	再 任 20期目
なりた あつひこ 成田 篤彦	記念物	再 任 8期目
かじわら まさかた 梶原 正方	有 形	再 任 8期目
たかはし まさる 高橋 克	民 俗	再 任 8期目
にっとう かずひこ 日塔 和彦	有 形	再 任 7期目
さそう まもる 笹生 衛	有 形 記念物	再 任 5期目
はまな とくじゅん 濱名 徳順	有 形 記念物	初 任

任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間）

○袖ヶ浦市文化財の保護に関する条例（抄）

第4章 市文化財審議会

第24条 文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に答え、又は意見を具申し及びこれらに必要な調査研究を行うため袖ヶ浦市文化財審議会を置く。

第25条 審議会は、非常勤の委員7名で組織し、文化財に関する学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

第26条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第27条 審議会に会長及び副会長各1名を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

任期

令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

議題 (1) 令和4年度文化財保護事業について

①令和4年度袖ヶ浦市教育基本方針及び目標

I. 基本方針

本市では、令和2年度から令和13年度を計画期間とする新しい「袖ヶ浦市総合計画」を策定し、市が目指す将来の姿を『みんなでつくる 人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦』とし、重点的取組の一つとして、“誰もが活躍するまち”の実現にむけ、子育て・教育環境の充実と学びを通じた社会参加の促進を図っています。

近年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会経済活動への多大な影響があり、本市教育委員会においても、感染対策を講じながら学校活動や社会体育施設運営を進めてきたところです。今後も教育活動を継続していく中で、感染対策に万全を期し、感染症の状況を見極めながら、柔軟に対応していく必要があります。

今年度は、令和3年度から令和12年度までを計画期間とし、本市教育行政の施策の方向性と施策を体系的にまとめた『第三期袖ヶ浦市教育ビジョン（袖ヶ浦市教育振興基本計画）』の2年目にあたります。

第三期教育ビジョンは、基本目標に『未来を創る 心豊かでいきいきとした 人づくり』を掲げ、【子ども】【生涯学習】【スポーツ】【文化財・文化芸術】の領域で基本目標を実現するための4つの目標を設定し、様々な施策についての取組を進めます。将来を担う子どもには、「知・徳・体」のバランスの取れた「生きる力」を身に付け、豊かな心とたくましい体を育てていくことを目標とします。また、市民には生涯にわたって自ら学び、その成果を生かすことができる環境づくりを推進します。さらに、それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ・レクリエーション環境の整備及び文化財の保存・活用、文化芸術の鑑賞機会の充実にも力を入れて取り組みます。

今年度の主な取組について、学校教育では、ICT機器の活用をより一層推進するため、学校ICTインストラクターによる授業支援の活性化を図るとともに、オンライン授業による国内外の児童生徒との交流を図ります。学校体育では、児童生徒のスポーツへの関心と体力・技術の向上を目指します。教育環境の整備では、蔵波地区における児童数増加の対応として、令和6年度の供用開始に向けて蔵波小学校増築校舎の設計を進めてまいります。また、小学校2校及び中学校全校の教室の机を新JIS規格に対応した広い天板に更新し、より学習しやすい教育環境の整備を図ります。社会教育施設的环境整備として、平岡公民館多目的ホール吊天井等の耐震対策工事を実施するほか、生涯学習の充実としてインターネットを通じて利用できる電子図書館サービスを試行的に実施します。郷土の歴史と文化財の保存・活用については、国史跡山野貝塚の保存活用のため、整備基本計画の策定や指定地の公有地化及び発掘調査等を実施するほか、郷土博物館の開館40周年記念企画展等を市民学芸員と協働して実施することにより、市民の社会参加を促進してまいります。

以上、これらのことを踏まえ、本市教育のさらなる発展を目指し基本目標の実現に向け、『令和4年度袖ヶ浦市教育基本方針及び目標』を定め、教育の向上に努めます。

Ⅱ. 目 標

4 文化財に親しみ、文化芸術を楽しむ場を創造します

【文化財・文化芸術】

(1) 郷土の歴史と文化を学び、伝える活動の推進

社会が急速に変化する中で、市民が「心のよりどころ」を持ち、郷土の歴史と文化について理解を深めることは、本市の未来を創る上で重要なことです。

そのため、国史跡山野貝塚をはじめとした市内の文化財を保護し、研究を進め、活用を促進する活動を市民との協働により行います。

また、郷土博物館は、蓄積した地域資料と情報・人材を活用し、地域交流・世代間交流の拠点を目指すとともに、後世に伝える活動を推進します。

①国史跡山野貝塚の保存・研究・活用

○教育ビジョンに示された施策

- ・山野貝塚の保存活用事業の実施
- ・山野貝塚の内容確認調査・整備に伴う調査の実施
- ・山野貝塚の整備基本計画の策定と整備の実施
- ・山野貝塚ボランティアの募集・講座の開催

②文化財の保存・活用

○教育ビジョンに示された施策

- ・市指定文化財の指定及び保存管理への支援
- ・地域の文化財の公開や活用の促進
- ・未指定文化財の調査・研究

③無形民俗文化財の保護と継承

○教育ビジョンに示された施策

- ・無形民俗文化財等の周知
- ・無形民俗文化財の活動及び継承への支援
- ・上総掘り技術伝承団体に対する支援

④市民とともに歩む博物館活動の充実

○教育ビジョンに示された施策

- ・地域資料と情報の収集・保存・管理・活用
- ・ボランティア等の育成と博物館活動を通じた生きがいの醸成
- ・博物館の資料と人材を活用した地域交流・世代間交流の促進
- ・誰にでもやさしい博物館活動の実践
- ・「袖ヶ浦市史研究」の刊行と地元研究者の育成

(2) 地域に根差した文化芸術活動の推進

多くの市民が、気軽に優れた文化・芸術に親しみ新たに参加することができる機会を提供するとともに、多種多様なジャンルの創造活動を行う市民への支援や、活動の成果を発表する機会を提供します。

また、新たに文化芸術活動を行う市民へきっかけづくりとして、すでに文化・芸術活動を行っている市民とともに、体験教室を開催します。

さらに、優れた文化芸術活動を行う団体を支援し、鑑賞の機会の充実を図ります。

①文化・芸術振興のための市民活動の支援

○教育ビジョンに示された施策

- ・市民の文化・芸術活動や文化芸術団体の事業の支援
- ・文化芸術活動を行う市民・サークル・団体等への発表の機会の提供

②文化・芸術鑑賞機会の充実

○教育ビジョンに示された施策

- ・市民が身近で鑑賞できる展覧会等の開催
- ・あらゆる世代を対象とした鑑賞機会の提供

令和4年度 施策の目標設定

基本目標 『未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり』

基本目標を実現させる4つの目標	施策の方向性	施策	目標値の考え方	目標値
4) 文化財に親しみ、文化芸術を楽しむ場を創造します【文化財・文化芸術】	(1) 郷土の歴史と文化を学び、伝える活動の推進 (担当課等) 生涯学習課 博物館	①国史跡山野貝塚の保存・研究・活用	山野貝塚講演会 来場者数	150人以上
			山野貝塚ボランティア登録数	13人
		②文化財の保存・活用	指定文化財調査 件数	年2回
		③無形民俗文化財の保護と継承	上総掘りの技術 体験講座開催数	年10回
	(2) 地域に根差した文化芸術活動の推進 (担当課等) 生涯学習課 博物館	④市民とともに歩む博物館活動の充実	協働事業の実施 回数	年5回
		①文化芸術振興のための市民活動の支援	文化芸術活動団 体事業後援件数	30件
	②文化芸術鑑賞機会の充実	袖ヶ浦美術展入 場者数	2,750人	

②令和4年度文化財保護事業について

No.	事業名 (事業費:千円)	目的・内容	時期・回数	対象・人数
1	文化財審議会関係費 (242)	市指定文化財の指定及び文化財の保存・活用に関して、教育委員会の諮問に応じて意見を具申します。また、文化財の保護のための調査研究活動を行います。	通年 (会議4回)	委員 7人
2	総合的な文化財の保存・活用事業 (3,174)	市内に所在する文化財を後世に伝えるため、指定文化財管理者に対して、管理費用などの補助金を交付します。また、腐朽しやすい鉄製品の保存処理や指定文化財の案内板設置等、文化財の総合的な保存・活用を図ります。 ○文化財補助事業 指定文化財所有者・管理者に補助金を交付し、適切な維持管理を行う。 ○文化財周知事業 地域の文化財を周知するため、指定文化財の案内板を設置する。(候補: 松見寺虚無僧墓碑) ○民俗・伝統芸能保護・継承事業 民俗芸能を継承する団体及び個人に対して支援などを行う。 ○埋蔵文化財保存活用事業 劣化しやすい資料を適切に保存処理し、活用する。(鉄製品保存処理(樺古墳群等)) ○その他 全国史跡整備市町村協議会 千葉県史跡整備市町村協議会大会(10/28 袖ヶ浦市開催)	通年	
3	埋蔵文化財整理棟施設管理事業 (698)	埋蔵文化財保護にかかわる施設の維持管理に努めます。	通年	
4	埋蔵文化財調査事業 (21,523)	市内に所在する遺跡について、各種開発行為のための事前調査のほか、重要な遺跡についてはその価値を明らかにするための調査を実施します。また、記録保存した遺跡は、発掘調査報告書として刊行します。 ○市内遺跡 宮ノ越貝塚の整理作業(令和5年度報告書刊行予定)、笹田遺跡他報告書刊行 ○民間開発事業 宮ノ後遺跡第6次調査 整理作業・報告書刊行 笹田遺跡 本調査・整理作業・報告書刊行 ○開発事業に伴う試掘	通年	

5	山野貝塚保存活用事業 (26,205)	<p>国史跡山野貝塚について、市としての取扱い方針を定めた「保存活用計画」に基づき、史跡の管理、保存、活用を図るとともに、整備の方向性を示す「整備基本計画」を策定します。また、史跡の適切な保護のため史跡指定地の公有地化を進めます。さらに、講演会等の開催及びボランティア活動の推進等により、山野貝塚の重要性を周知し、市民の山野貝塚の保存活用に対する理解を高めます。</p> <p>○史跡整備基本計画の策定 ○史跡全体の公有地化 ○山野貝塚周知のための講演会開催 ○発掘調査の実施（第10次調査） ○整理作業の実施（令和5年度報告書刊行予定） ○レーダー探査の委託実施（3回目） ○ボランティア組織の運営 ○史跡の維持管理（除草作業）</p>	通年	
---	------------------------	---	----	--

③令和4年度文化財保護事業関係予算

単位：千円

	事業名	内容	時期	令和4年度予算	令和3年度予算	増減
1	文化財審議会関係費 (0002-01)	文化財の指定及び文化財の保護・活用（会議等 4回）	4月～3月	242	227	15
		【内訳】				
		報酬		186	186	0
		旅費		53	38	15
		需要費		3	3	0
2	総合的な文化財の保存・活用事業 (0002-02)	指定文化財補助、文化財保護全般	4月～3月	3,174	5,618	▲2,444
		【内訳】				
		会計年度任用職員報酬		0	2,041	▲2,041
		報償費		140	140	0
		旅費		27	221	▲194
		需用費		118	382	▲264
		役務費		15	15	0
		委託料		2,129	2,150	▲21
		・システム保守管理委託料		165	165	0
		・指定文化財維持管理委託料		400	400	0
		・御手洗井植栽等管理委託料		53	51	2
		・出土鉄製品等保存処理		1,067	1,131	▲64
		・文化財案内板再設置		444	402	42
		負担金・補助金		745	669	76
		・負担金		40	40	0
		・市指定文化財補助金		705	629	76
		文化財保険・維持管理費 7件				
		文化財保険のみ 1件				
		維持管理費のみ 14件				

3	埋蔵文化財整理棟施設管理事業 (0002-03)	埋蔵文化財整理棟及び埋蔵文化財収蔵庫管理	4月～3月	698	695	3
		【内訳】 需用費 ・単契・一般消耗品費 ・燃料費 ・光熱水費 役務費 委託料 ・整理棟警備委託 ・床清掃委託料 使用料・賃借料 一般負担金		135 77 28 30 103 316 185 131 97 47	131 73 28 30 103 316 185 131 98 47	4 4 0 0 0 0 0 0 ▲1 0
4	埋蔵文化財調査事業 (0002-08)	埋蔵文化財発掘調査及び整理作業・報告書刊行	4月～3月	21,523	22,526	▲1,003
		【内訳】 ●市内遺跡発掘調査等(国庫・県費補助事業)確認調査・本調査・報告書刊行 ・宮ノ越貝塚(整理) ●市単費事業 開発に伴う試掘等 ●民間開発事業 ・宮ノ後遺跡(整理・報告書刊行) ・筑田遺跡(本調査・整理・報告書刊行) ・未決定 3,000 m ²				
5	山野貝塚保存活用事業 (0002-09)	山野貝塚を国史跡として保存し、将来的には史跡公園等として整備し、公開する。	4月～3月	26,205	27,562	▲1,357
		【内訳】 会計年度任用職員報酬(整理等) 報償費 旅費 需用費 ・単契・一般消耗品費 ・燃料費 ・食糧費 ・一般印刷製本費 役務費 委託料 ・測量設定委託料(発掘調査・用地) ・計画策定委託料 ・その他委託料 除草委託 レーダー探査 使用料・賃借料 原材料費 公有財産購入費 補償補填及び賠償費		711 594 94 576 135 37 6 398 8 13,846 250 4,345 9,251 50 15 5,721 4,590	332 337 62 507 77 30 3 397 6 13,559 1,318 0 12,241 52 50 5,721 6,936	379 257 32 69 58 7 3 1 2 287 ▲1,068 4,345 ▲2,990 ▲2 ▲35 0 ▲2,346
7	車両維持管理費 (0004-01)	公用車維持管理費(発掘調査及び事務連絡用1台)	4月～3月	172	224	▲52

合計 52,014 千円 (前年度予算 56,852 千円) 前年度比▲4,838 千円

議題（２）袖ヶ浦市指定文化財の候補について

袖ヶ浦市指定文化財候補一覧（令和４年）

網掛けは次期指定候補として優先度の高いもの ※Noと指定順は関係ない

1 有形文化財・建造物

No.	神社名	地区	名称	形式	時期	備考
1	大歳神社	横田	内殿	一間社(間口63cm)、切妻、平入り	近世末	もと十二天社 調査の結果、近世の作、歴史的背景調査
2	正福寺	久保田	宮殿	間口一間、入母屋	近世末	笠上観音焼失後に移設か 住職は指定に否定的、歴史的背景要調査

2 有形文化財・絵画 仏画(室町時代以前)

No.	寺院名	地区	名称	時期	備考
1	東光院	谷中	如意輪観音菩薩像	南北朝	絹本着色

3 有形文化財・彫刻 仏像(室町時代以前)

No.	寺院名	地区	名称	像高(cm)	材質	彫眼	漆箔	時期	備考
1	兼蓮寺	代宿	十一面観音菩薩立像	104.5	木造	彫眼	漆箔	平安	平成3年修理・着色
2	竜門寺	三ツ作	地藏菩薩坐像	23.4	木造	玉眼	漆箔	室町	銘 享禄3年(1530)
3	常照寺	野田	善光寺式阿弥陀三尊・中尊	44.7	銅造			鎌倉	火災による損傷著しい。平成24年度資料鑑定。平成26年度文化審で検討済。寺由来等要調査
4			善光寺式阿弥陀三尊・左脇侍	31.5	銅造			鎌倉	
5			善光寺式阿弥陀三尊・右脇侍	21.5	銅造			鎌倉	
6	福寿院	川原井	薬師如来立像	35.1	木造	彫眼	彩色	室町	
7	光明寺	川原井	大日如来坐像	42.8	木造	玉眼	金泥	室町	
8	佛性寺	永吉	阿弥陀如来坐像	50.0	木造	玉眼	漆箔	室町	
9	延命寺	高谷	地藏菩薩立像	160.3	木造	玉眼	金泥	室町	古色、経蔵
10			十一面観音立像	168.0	木造	彫眼	彩色	室町	
11	地藏寺	岩井	地藏菩薩立像	56.8	木造		漆箔	室町	台座後補墨書「大佛師熊吉」 袖ヶ浦市教育委員会1995『袖ヶ浦の仏像・仏具』により追記、修正
12	勝蔵院	大鳥居	阿弥陀如来立像	47.6	銅造			南北朝	
13			観音菩薩立像	35.5	木造	彫眼	漆箔	室町	古色
14			勢至菩薩立像	35.0	木造	彫眼	漆箔	室町	古色
15	無量寺	堂谷	阿弥陀如来立像	49.7	木造		漆箔	室町	古色
16	降伏寺	下根岸	地藏菩薩立像	96.0	木造	彫眼	彩色	室町	
17	石井家 虚空蔵堂	大曾根	虚空蔵菩薩坐像	45.0	木造	彫眼	漆箔	室町	銘 嘉吉2年(1442)
18	三ツ作神社	三ツ作	毘沙門天立像	59.5	木造	彫眼	素地	平安	郷土博物館保管
19	文殊堂	永地	菩薩坐像	37.5	木造			室町	盗難
20	大日堂	横田	大日如来坐像	76.0	木造	彫眼	彩色	室町末	
21	善福寺	横田	阿弥陀如来立像	36.3	木造			南北朝	
22	法光寺	神納	阿弥陀如来立像	61.5	木造			室町	
23	照崎寺	勝	観音菩薩坐像	155	木造			室町	
24	長泉寺	永地	阿弥陀如来坐像	30	木造			室町	
25	光福寺	三箇	不空羂索観音菩薩立像	—	木造	彫眼	彩色	嘉吉2室町	袖ヶ浦市教育委員会1995『袖ヶ浦の仏像・仏具』により追記、修正

4 有形文化財・古文書

No.	名称	地区	名称	時期	備考
1	高浦家文書	市内		安土桃山	
2		市内	天正(太閤)検地帳	安土桃山	
3	飽富神社	飯富	唯一社頭年中行事	天明年間	

5 有形文化財・歴史資料

No.	名称	地区	名称	時期	備考
1	大竹神社	大竹	宮薙の資料		
2	永吉台遺跡群	永吉	陶印	平安	郷土博物館保管 市内古代仏教関連遺物群としての指定を要検討
3	西原遺跡	永地	西原遺跡出土呪符木簡	室町時代	郷土博物館保管
4	根形台遺跡群		手焙形土器・蕨手刀		新規
5	文脇遺跡		和鏡・古銭		新規
6	道標群	市内		江戸～昭和	
7	雷塚遺跡	神納	板状鉄製品+火葬墓		長さ28.1cm、最大幅3.7cm、厚さ2.5cm SK008出土、8世紀後半から9世紀初頭

6 記念物・史跡

No.	名称	地区	名称	時期	備考
1	坂戸神社古墳	坂戸市場	前方後円墳(前期)		県指定天然記念物坂戸神社の森内
2	椿古墳群	大鳥居	内前方後円墳	古墳時代前期?	
3	鎌倉街道	三ツ作他	上総道		歴史の道100選のNo.26
4	正木幽谷墓	神納	多田家墓地内	昭和9年	江戸時代朱子学者
5	正福寺	久保田	絵馬群	近世～現代	
6			パッチンアミ		進藤博之氏蔵
7	植物	高谷	オオグクの生息地		成田文化財審議員から情報提供

7 民俗文化財・無形民俗文化財

No.	名称	地区	名称	時期	備考
1		神納・坂戸市場	春祈禱(ハルギトウ)		
2	飽富神社	飯富	お田植え神事		
3	八幡神社	久保田	湯立神事(ユノハナ)		
4	神明神社	今井	湯立神事(大祈禱)		
5	八幡神社	下新田	的射神事(オマト)		附 下新田八幡神社本殿
6	延命寺	高谷	百地藏参り(札ブチ)		

議題（２）指定文化財候補について

令和３年度第４回会議（書面会議）において、委員からご意見があった指定文化財候補について、これまでの調査経緯及び若干の調査状況を報告し、今後の方向性について委員に意見を求めるものです。

１）有形文化財・彫刻（仏像）

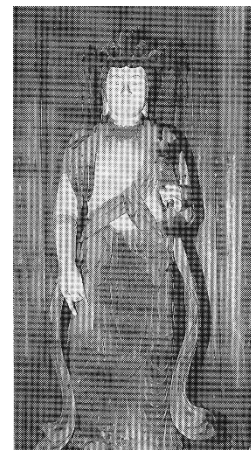
①延命寺（高谷）

・地蔵菩薩立像

像高：160.3 cm
構造：木造、玉眼、金泥
年代：室町時代
備考：古色、経蔵



地藏菩薩立像（延命寺）



十一面観音立像（延命寺）

・十一面観音立像

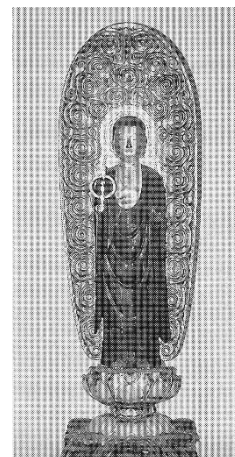
像高：168.0 cm
構造：木造、彫眼、彩色
年代：室町時代
備考：経蔵

②地蔵寺（岩井）

・地蔵菩薩立像

像高：56.8 cm
構造：木造、漆伯
年代：室町時代
備考：台座後補墨書「大佛師熊吉」

※令和３年度第４回書面会議の一覧では「延命寺」となっていますが、『袖ヶ浦の仏像・仏具』を確認したところ、「地蔵寺」とされていたため修正しました。



地藏菩薩立像（地蔵寺）

③光福寺（三箇）

・不空羂索観音立像

像高：不明
構造：木造、彫眼、彩色
年代：室町時代



不空羂索観音立像（光福寺）

出典：袖ヶ浦市教育委員会 1995 『袖ヶ浦の仏像・仏具』

2) 有形文化財・古文書、民俗文化財

飽富神社「唯一社頭年中行事」、「お田植神事」(飯富)

これまでの経緯

本件については、平成28年度第2回及び3回、平成29年度第1回文化財審議会において指定文化財候補としてご審議いただいた。

平成28年度の審議会において、「唯一社頭年中行事」は、現在も続けられている民俗行事を裏付けるものとして重要であり、また神道史の観点から見ても興味深いとの指摘をいただいた。一方、「お田植神事」は歴史性、伝統性が保証された民俗行事として重要であることから、古文書と民俗行事を一緒に指定することの意義についても指摘があった。

平成29年度の審議会においては、現在行われているお田植神事の記録映像を確認していただくとともに、最近の調査結果と唯一社頭年中行事に記載された内容の比較について報告した。年中行事の性格を考えると、吉田神道の影響を受ける以前のオリジナルな要素、吉田神道の影響を受けた要素、明治初年の段階で改変を受け現在に続いている要素、の3つの要素で現在の行事を位置付ける必要性が指摘され、継続調査となった。

○お田植神事に関する過去の調査及び唯一社頭年中行事での記録について (H29①文化審)

	唯一社頭年中行事	袖ヶ浦町史、市史等
記録年代	天明年間(1781~1789)	1987~1998
日取り	4月1日	4月15日
葦狩り	当日に下池より	当日に一定の場所より
葦苗	葦2本、くの木(クヌギか?)の小枝をわらみごで結わえる	葦2本、ナラの小枝を苗結びに仕立てる
数	75手(末社の数か?)	記録なし
役割り	神納村神主、社人 なへ取やく 藤左衛門 田うなひやく 惣右衛門家の娘 早乙女役	早乙女役は月経前の少女 (袖ヶ浦町民俗文化財調査報告書のみ高橋孫左衛門家の娘を早乙女役とする)
神事	葦苗は神前に供える うちならし三→三種加持かしわ手 二→神哥三反	葦苗は神前に供える 関係者一同が祈祷
所作	社人の前に12手ずつ立てる 手前を向いの者と2手ずつ取り換える(苗取り?) 早乙女が葦苗を投げる	早乙女役が田植えの真似をし、葦苗を投げる
苗束	絵図の如く立て掛ける	苗籠に入れる
早乙女衣装	記録なし	すげ笠にたすき姿
祭事後	吉日に田へ植える	田の水口に立てる
その他	社人も葦苗を投げる	早乙女役の家から赤飯が届く

※唯一社頭年中行事には1月に鋤入れの神事が行われていた、とある。

(その際、同様の神哥(一つぶを やそやよろずに ますかがみ たからをふらす わたずみのかみ)を3回唱えていた)

朔日

△御田植の神夏

御神記にも此事あり

四月朔日此地にあまくだりまして御田をうへ給ふとあり

今日下池より人足にて葦をかりて大丸巻束上ル

社人は是を前例のごとく苗につくる、二本ツムそろへて木の木の小多だをは共ニ中ほどにゆいつける、わらみごとに結なり

神納村神主もなへ取やく、當村藤左衛門田うなひやく、社人惣右衛門と娘の子ノ月やくにならざるを出して早乙女にたてる、右のなへ作り終て神前へさぶけて(ヤ)神哥をとなへるなり

先うちならし三ツ、三種加持かしわ手二

一つぶをやそやよろづにますかどみたからをふらすわたず

みの神、三反となへてかしわ手二ツ

大こをうつ、それより鳥井のまへにいづる



如此ニ作るなり

七拾五手なり

十二手ツム社人のまへに立て



如此ニ立かけて、手まへを向のものへと段々とりかへくして、たがひに一手二束ツムかぞへとりかゆるなり、終りて

右のごとく石だんのうへに立て、まづ早乙女是を南へむかひてなけいだす、諸参詣の人々ひろいとる、社人も段々なげるなり、是をひろいとりしもの初て田をうゆる時よしそふる也とて、吉日ニ田へうゆるなり

3) 有形文化財・歴史資料

永吉台遺跡群出土「陶印」(永吉)

遺跡群の概要

永吉台遺跡群は、永吉地区の東京ドイツ村に所在する、奈良・平安時代を主体とする遺跡群である。遺跡群は、小櫃川支流の松川中流域左岸の台地上に位置し、松川の支流によって開析され北側に張り出す、標高 63~75m の 2 つの舌状台地上に立地することになり、東側の台地が遠寺原地区、西側の台地が西寺原地区と区分される(図 1)。発掘調査は 1982~1984 年にかけて(財)君津都市文化財センターによって実施され、1985 年に発掘調査報告書が刊行された。

遠寺原地区は、8 世紀後半から 10 世紀前半にかけての集落と寺院に関する遺跡で、8 世紀末頃に四面廂付掘立柱建物を中心とした寺院が成立する(図 3)。

西寺原地区は、9~10 世紀にかけて営まれた集落跡であるとともに、土器生産を行っていた遺跡である(図 2)。

両地区からは、「寺」「佛」など仏教に関する文字が書かれた墨書土器が多数出土するほか、遠寺原地区からは、灰釉陶器の薬壺・水瓶や香炉蓋、瓦塔・瓦堂などの仏教に関わる遺物が出土している(図 6)。これらの遺物と前述した四面廂付建物を中心とする寺院跡が検出された永吉台遺跡群は、8 世紀後半に盛行する、集落内に形成される「村落内寺院」研究の先駆けになった遺跡としても注目される。

また、永吉台遺跡群の周辺には川原井地区の東郷台遺跡や寺野台遺跡、市原市萩ノ原遺跡など、平安時代の仏教に関わる遺跡が集中している。

陶印について

陶印は、西寺原地区の北西部に位置する、10 世紀第 2 四半期に属すると考えられる住居から出土した。持ち手部分である紐が欠損しているが、印面は 3.85 cm×3.8 cm、厚さ 0.9 cm を測る。文字は鋭利なへら状工具で印刻されているが、現在のところ判読はできていない(図 4、5)。

県内では、八街市で採取された「山邊郡印」(官印)のほか、所在が明らかなものとして 4 つの銅印(私印)が発見されている(4 つの内の 1 点、南房総市恩田原遺跡出土銅印は唯一出土地点が明らかなものであり、令和 3 年度に県指定有形文化財に指定)。

これらの私印については、発見された周辺で古代の銅製帯金具や灰釉陶器、墨書土器が出土していることから、識字層の存在や地方官人層との結びつきが窺えるものとされる。

永吉台遺跡群では、遠寺原地区で寺院跡が検出されており、また、多くの墨書土器が発見されていることから、僧侶などの識字層との結びつきの中で、この陶印がもたらされた可能性が考えられる。

市内の仏教関連遺跡について(表 1、2)

8 世紀後半以降に盛行する仏教関連遺跡については、それ以前は集落がなかった場所や集落が一度途絶えた場所に新たに営まれる集落として出現する傾向にあり、市内でも複数確認されている。その多くは永吉台遺跡群が所在する市内東部の川原井地区から市原市の市境にかけての地域で確認されている。また、代宿の上大城遺跡でも確認されている。



図1 永吉台遺跡群位置図 ((財) 君津都市文化財センター1985『永吉台遺跡群』)

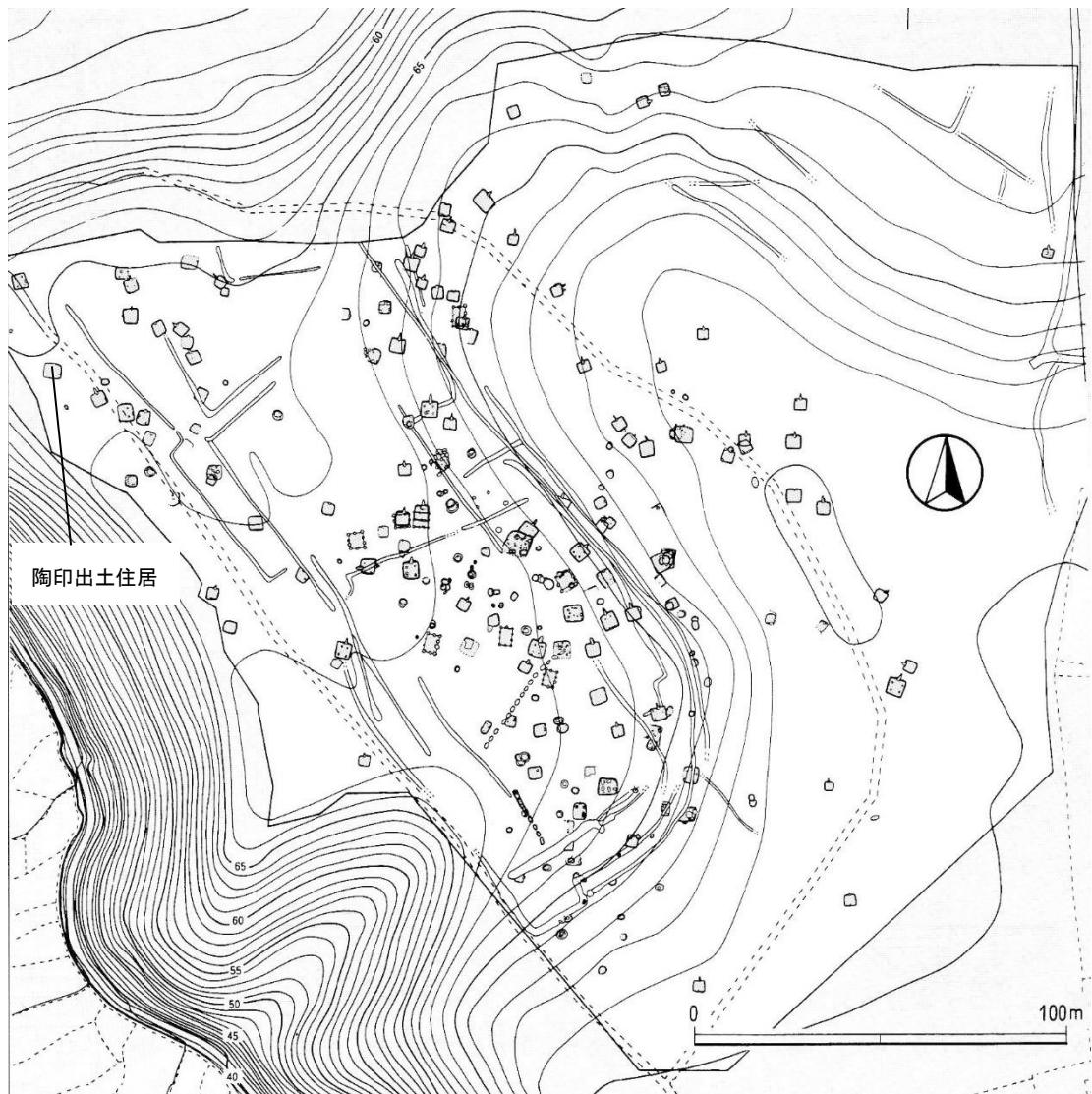


図2 西寺原地区遺構配置図 ((財) 千葉県史料研究財団 1998『千葉県の歴史資料編考古3 (奈良・平安時代)』)

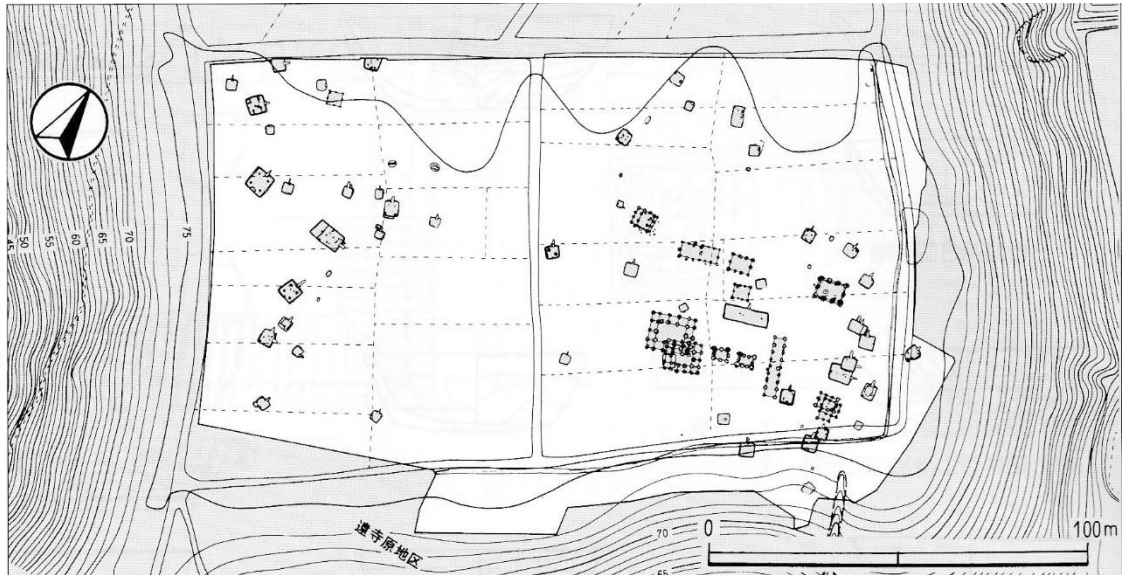


図3 遠寺原地区遺構配置図 ((財)千葉県史料研究財団 1998『千葉県の歴史資料編考古3 (奈良・平安時代)』)

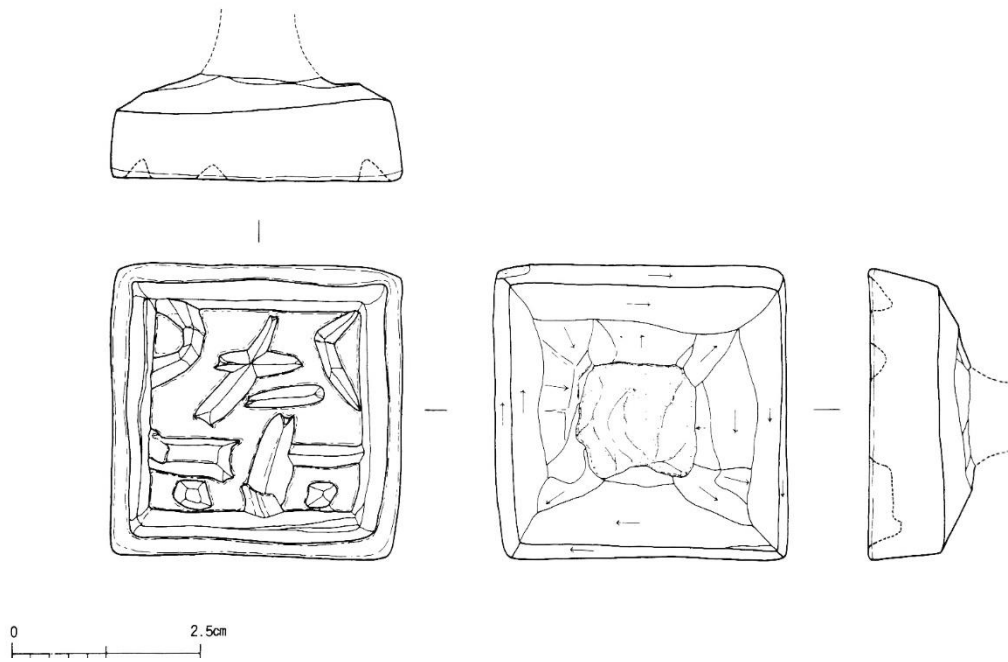


図4 陶印実測図 ((財)君津郡市文化財センター1985『永吉台遺跡群』)

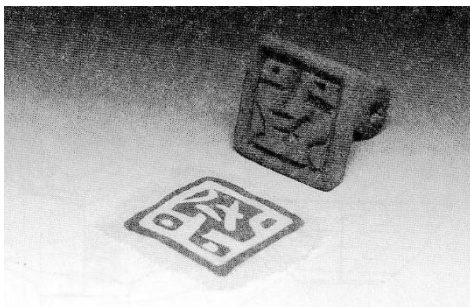


図5 復元した陶印

(袖ヶ浦市史編さん委員会 1999『袖ヶ浦市史資料編1 原始・古代・中世』)

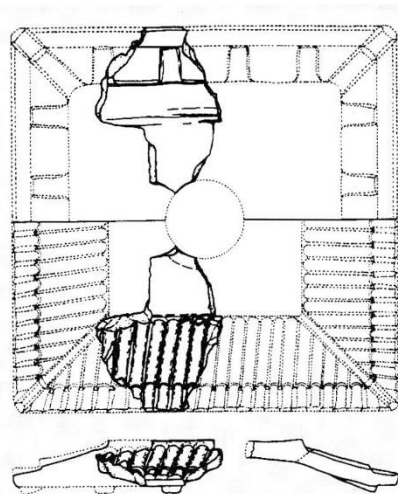


図6 遠寺原地区出土瓦塔

((財)千葉県史料研究財団 1998『千葉県の歴史資料編考古3 (奈良・平安時代)』)

表1 袖ヶ浦市内奈良・平安時代仏教関連遺跡一覧①

No.	遺跡名	フリガナ	所在	水系	遺跡の種別	奈良		平安		検出遺構 種類・時期・数		土器		土製品		石器・石製品		出土遺物 金属製品		自然遺物		その他		備考	文献	
						●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●
1	上大城遺跡	カミオオシロイセキ	袖ヶ浦市代宿字上大城	浜宿川	集落、墓域	●	●			住居(奈良4、平安10)、掘立柱建物(奈良1、平安5)、土坑(1)、方形墳墓(1)、溝(1)	土師器・須恵器・灰釉陶器(浄瓶・長頸壺)	鍔型か、瓦塔・瓦堂・平瓦・支脚、香炉壺	砥石	鉄製品(棒状鉄製品・飾り具か・鎌・刀子)、銅製品(棒状銅製品)								墨書土器「立」「平」		I期(8後半)、II期(8末~9初)、III期(9前~中)、IV期(9後半)、V期(9末~10前半)の変遷、II~III期に仏教関係の遺構・遺物	笹生衛1994『上大城遺跡発掘調査報告書』(財)君津都市文化財センター	
2	上大城遺跡II	カミオオシロイセキニ	袖ヶ浦市久保田字五反田844ほか	浜宿川	集落、墓域	●	●			住居(49)、掘立柱建物跡(17)、竪穴状遺構(3)、柱穴列(5)、炉跡(2)、土坑墓(2)、粘土探掘坑(2)、土坑(8)、貝埋納土坑(9)	土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器	ミニチュア土器・香炉・瓦塔・羽口・支脚	砥石・砥石・紡錘車	鉄製品(鉄鏃・刀子・穂積具・鎌・釘・ヤリガンナ・はばき)	貝(アサリ・ハマグリ・オノガイ・シオフキ・サルボウ・キサゴ・カガミガイ・ツメタガイ・ウミナ・ニシ・ムシロガイ・オキシジミ・カキ)							瓦・人面墨書土器		調査区の北、中央、南に遺構の分布が認められ、概ね3期の変遷が認められる。また、仏教関係の遺物が多数出土しており、人面墨書土器は君津地域における唯一の確実な出土例である。	豊巻幸正・稲葉理恵・光江章2005『千葉県袖ヶ浦市一 袖ヶ浦市の森工業団地内埋蔵文化財調査報告書 第二分冊 上大城遺跡II』	
3	上宮田台遺跡	カミミヤタダイセキ	袖ヶ浦市上宮田字羽雄190ほか	鱧水川	集落、生産址	●	●			住居(奈良11・奈良・平安12・平安1)、掘立柱建物(奈良・平安6)、方形周溝状遺構(奈良3)、鍛冶遺構(奈良1)、小ピット(古墳~奈良・平安22・奈良・平安34)	土師器・須恵器	支脚・土鍾・焼成粘土塊・羽口	砥石・紡錘車・小玉	鉄製品(刀子・穂積具・鉄鏃・鉄斧・釘)、製鉄関係遺物(鉄塊系遺物・含鉄鉄滓・炭形滓・精錬滓・粒状滓・鍛造剥片・スラグ)										奈良時代の製鉄集落	安井健一2008『首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書 袖ヶ浦市上宮田台遺跡I(弥生時代以降)』(財)千葉県教育振興財団文化財センター	
4	川原井八幡下遺跡	カワライハチマンシタイセキ	袖ヶ浦市川原井字八幡下1567ほか	松川	集落・墓域	●	●			住居(奈良1)、火葬墓(平安1)、土坑(時期不明1)	土師器(奈良・平安)												諸墨知義・松本明子1998『第4章 川原井八幡下遺跡』『平成9年度 袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書』袖ヶ浦市教育委員会			
5	小谷遺跡	コヤツイセキ	袖ヶ浦市永吉字小谷382ほか	松川	集落		●			住居(平安16)、土坑(平安2)、土器焼成遺構(平安1)	土師器(平安)、須恵器(平安)	支脚・土鍾	砥石・紡錘車	鉄製品(釘・鉄鏃)、銅製品										大崎紀子1992『小谷遺跡発掘調査報告書』(財)君津都市文化財センター		
6	子者清水遺跡	コシミズイセキ	袖ヶ浦市蔵波字鎌倉街遺3311-140ほか	蔵波川	墓域	●	●			方形区画墓(3)、火葬墓(3)														西原崇浩2000『正源戸B遺跡・子者清水遺跡』(財)君津都市文化財センター		
7	西原遺跡	サイバライセキ	袖ヶ浦市永地字筆立8		包蔵地		▲				土師器(平安)													瓦・呪符木簡 墨書土器出土。呪符木簡出土。	桐村久美子1997『西原遺跡』(財)君津都市文化財センター	
8	西原遺跡III	サイバライセキサン	袖ヶ浦市永地字一夜川1114-1ほか	松川	生産址		●			水田面	土師器(平安)													考古学的に水田面があったことが証明される。木製品はすべて平安時代に伴うかは不明。	光江章他2003『西原遺跡III』(財)君津都市文化財センター	
9	西原遺跡II	サイバライセキニ	袖ヶ浦市永地字西ノ下1211-2ほか		集落		▲			土坑(平安7)、土坑(井戸?)(10c終~11c前1)、遺物集中地点(平安1)	土師器(奈良・平安)、須恵器(奈良・平安)、緑釉陶器(平安)	支脚・土鍾												瓦(平安)、木製品(板・弓・柱・枕・曲物・蓋)	墨書土器出土 伊藤伸久1999『西原遺跡II』(財)君津都市文化財センター	
10	境遺跡	サカイセキ	袖ヶ浦市下新田1270	小櫃川	集落		●			住居(平安12)、土坑(平安6)、溝(奈良1)	土師器・須恵器	支脚・紡錘車	砥石・礫	鉄製品(鎌・刀子・鉄鏃・鋳・紡錘車・釘)、銅製品(鉈尾)	貝(シオフキ・ハマグリ・キサゴ・アサリ・カガミガイ・オノガイ)									平安時代前期の集落	小沢洋1985『境遺跡』(財)君津都市文化財センター	
11	境No.2遺跡	サカイナンバーニイセキ	袖ヶ浦市下新田・三ツ作	小櫃川	集落	●	●			住居(奈良・平安6)、溝(奈良?1)	土師器・須恵器													溝は境遺跡からつながるものと考えられる。	牛房茂行1985『境No.2遺跡』(財)君津都市文化財センター	
12	寒沢遺跡第5地点	サブサワイセキダイゴチテン	袖ヶ浦市永吉字寒沢773-1	松川	集落	●	●			住居(奈良・平安8)	土師器(奈良・平安)、須恵器(奈良・平安)	支脚												墨書土器出土	稲葉理恵1996『寒沢古墳群・愛宕古墳群・寒沢遺跡・上用瀬遺跡発掘調査報告書』(財)君津都市文化財センター	
13	寒沢遺跡第2地点	サブサワイセキダイニチテン	袖ヶ浦市永吉字寒沢尻773-1	松川	包蔵地	●	●			方形区画墓?(奈良・平安1)														稲葉理恵1996『寒沢古墳群・愛宕古墳群・寒沢遺跡・上用瀬遺跡発掘調査報告書』(財)君津都市文化財センター		
14	清水井遺跡	シミズイセキ	袖ヶ浦市高谷字清水井1511-2ほか	小櫃川	集落	●	●			住居(奈良・平安12)、掘立柱建物跡(奈良・平安2)	土師器(奈良・平安)、須恵器(奈良・平安)		紡錘車	鉄製品(鎌)										8世紀後半~9世紀にかけての住居。	大崎紀子1993『清水井遺跡』(財)君津都市文化財センター	
15	清水川台遺跡	シミズガワダイセキニ	久保田代宿入会地字二ツ池台9-1他	久保田川	包蔵地 集落跡	●	●			住居1(奈良1)、方形区画墓3(奈良3)、土坑8(時期不明8)	土師器・須恵器	転用硯		鉄製品(鎌、釘、鋸(はばき)、不明)、鉄滓											金丸誠他2018『袖ヶ浦市定使山遺跡・八重門田遺跡・清水川台遺跡(2) 袖ヶ浦市の森工業団地整備事業埋蔵文化財発掘調査報告書』千葉県教育委員会 千葉県教育委員会埋蔵文化財報告第26集	
16	下谷遺跡	シモヤツイセキ	袖ヶ浦市下宮田字下谷91ほか	小櫃川	集落、墓域	●	●			住居(3)、掘立柱建物(2)、方形墳墓(1)、溝状遺構(1)	土師器・須恵器・墨書土器	支脚		鉄製品(釘)	貝(イボキサゴ・ウミナ・ツメタガイ・アカニシ・アラムシロ・バイ・ナガニシ・サルボウ・イタヤガイ・イタボガキ・マガキ・バカガイ・シオフキ・アリソガイ・マテガイ・カガミガイ・アサリ・ハマグリ・オキシジミ・オノガイ)								8世紀前半代築造と考えられる方形墳墓の主体部から鉄釘、人骨、貝が検出された。四面扉付の掘立柱建物には区画溝が伴い、仏堂のような施設であった可能性がある。	半澤幹雄・高梨友子2007『首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書』(財)千葉県教育振興財団		
17	中六遺跡(9)	チュウロイセキ(キュウ)	袖ヶ浦市蔵波字赤池3002-1、3002-2	蔵波川	墓域		●			火葬墓(平安2)	土師器(平安)														稲葉理恵2007『第2章 中六遺跡(9)』『平成18年度袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書』袖ヶ浦市教育委員会	
18	中六遺跡(10)	チュウロイセキ(ジュウ)	袖ヶ浦市蔵波字赤池3002-1、3002-2	蔵波川	墓域		●			火葬墓(平安2)	土師器(平安)														西原崇浩2007『千葉県袖ヶ浦市 中六遺跡(10)』袖ヶ浦市教育委員会	
19	寺野台遺跡	テラノダイセキ	袖ヶ浦市川原井字寺地629-1	松川	集落		●			住居(平安45)、掘立柱建物(平安6)、土坑(平安?33)、溝(平安?2)、道路(平安?1)	土師器・須恵器(平安)		砥石	鉄製品(鉄滓)	礫										置きカマド出土	稲葉理恵2006『第2章 寺野台遺跡』『平成17年度 袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書』袖ヶ浦市教育委員会
20	寺野台遺跡(2)(3)	テラノダイセキ(ニ)(サン)	袖ヶ浦市川原井字寺地629-1ほか	松川	集落		●			住居(平安13)、竪穴状遺構(平安9)、溝(時期不明4)、道路(時期不明1)、土坑(時期不明110)、集石遺構(平安1)	土師器(平安)、須恵器(平安)	支脚・土鍾													墨書土器多量に出土。集石遺構と竪穴状遺構内から土師器とともに礫の集積が検出された。	稲葉理恵2007『寺野台遺跡(2)(3)』袖ヶ浦市教育委員会
21	寺野台遺跡(4)	テラノダイセキ(ヨン)	袖ヶ浦市川原井字寺地629-8、629-12	松川	集落		●			住居(平安3)、竪穴状遺構(平安?5)、道路(平安?1)、土坑(平安?3)、ピット(掘立柱建物?)(平安?8)	土師器(平安)														調査範囲の一部が寺野台遺跡(2)(3)の調査範囲と重複する。重複部分も含めて遺構・遺物が報告されている。	桐村久美子2009『寺野台遺跡(4)』袖ヶ浦市教育委員会

表2 袖ヶ浦市内奈良・平安時代仏教関連遺跡一覧②

No.	遺跡名	フリガナ	所在	水系	遺跡の種類	奈良		平安		検出遺構 種類・時期・数	出土遺物					備考	文献	
						●	●	●	●		土器	土製品	石器・石製品	金属製品	自然遺物			その他
22	東郷台遺跡	トウゴウダイセキ	袖ヶ浦市川原井字東郷台1403-16他		寺院	●	●			住居(奈良・平安8)、掘立柱建物跡(奈良・平安6)、溝(奈良・平安7)	土師器(奈良・平安)、須恵器(奈良・平安)、灰釉陶器(奈良・平安)	瓦塔	—	鉄製品(釘・鋤先)	—	瓦	墨書土器出土。古代寺院跡。	光江章1986『東郷台遺跡(川原井廃寺)』(財)君津都市文化財センター
23	永吉台遺跡群 遠寺原地区	ナガヨシダイセキグントオテハラチク		松川	集落、寺院		●			住居(平安(8後~10世紀)51)、掘立柱建物(平安(9世紀)17)、土坑(平安6)、土器一括投棄遺構(平安(9初)2)	土師器(8後~10世紀)、須恵器(平安)、灰釉陶器(平安)	支脚・羽口	砥石・軽石・丸靱・双孔円盤・風字硯	鉄製品(刀子・鎌・鋤先・筵鉄・紡錘車・鏝・鍬・釘)、銅製品(銅鏡)	—	瓦塔、瓦、置きカマド	墨書土器出土。9世紀代の寺院跡。	笹生衛・豊巻幸正1985『永吉台遺跡群』君津都市考古資料刊行会
24	永吉台遺跡群 西寺原地区	ナガヨシダイセキグンニシテハラチク		松川	集落、生産址		●			住居(土器生産工房址含む)(平安(9~11世紀)133)、掘立柱建物(平安8)、竪穴状遺構(平安2)、土器焼成遺構(平安60)、土坑(平安主体50)、土器一括投棄遺構(平安1)、火葬墓(平安1)	土師器(9~11世紀)、須恵器(平安)、灰釉陶器(平安)	支脚・土鐘・土馬・土製三足鍋・埴・陶印	砥石・磨石・砥石・紡錘車・丸靱	鉄製品(刀子・鉄鍋・鎌・紡錘車・釘・匙・穂積具・鋤先・鍬・斧・鏝)	—	置きカマド(平安)、瓦	墨書土器出土。10世紀代の土器生産址。	笹生衛・豊巻幸正1985『永吉台遺跡群』君津都市考古資料刊行会
25	西久保下遺跡	ニシクボシタイセキ	袖ヶ浦市蔵波字西ノ久保545-2	蔵波川	集落		●			住居(平安2)	土師器・須恵器	支脚・土玉・土鐘・置きカマド	砥石・台石・軽石・紡錘車・管玉・石製模造品	鉄製品(鋤先・紡錘車・鎌・鏝・刀子)	貝(キサゴ・アサリ・サルボウ・ハマグリ・ツメタガイ・シオフキ・ニナ類)		平安時代の住居から置きカマド出土	小沢洋1999『西久保下遺跡』(財)君津都市文化財センター
26	二又堀遺跡	フタマタボリイセキ		小櫃川	集落	●	●			火葬墓(5)、方形区画墓(1)、溝(3)	土師器							稲葉昭智1993『大竹遺跡群発掘調査報告書Ⅱ 二又堀遺跡 大竹古墳群』
27	文蔵遺跡(県調査分)	フミワキイセキ(ケンチュウサブン)	袖ヶ浦市野里	松川	集落	●	●			住居(奈良・平安6)	土師器(奈良・平安)、須恵器(奈良・平安)	—	砥石・軽石	—			墨書土器出土	加藤正信・大谷弘幸『袖ヶ浦市文蔵遺跡』(財)千葉県文化財センター
28	文蔵遺跡第1地点	フミワキイセキダイチチテン	袖ヶ浦市野里・上泉	松川	集落	●	●			住居(奈良19・平安25)、土坑(奈良1・平安3)、集石(奈良1)	土師器(奈良・平安)、須恵器(奈良・平安)	支脚	砥石・軽石・紡錘車	鉄製品(鋤先・刀子・紡錘車・釘)、青銅製品		瓦・置きカマド・羽口	墨書土器出土	山本哲也1992『文蔵遺跡』(財)君津都市文化財センター
29	文蔵遺跡	フミワキイセキ	袖ヶ浦市上泉字南原618-2他	松川	包蔵地 集落跡 城館跡	●	●			住居(平安1)、溝状遺構(奈良・平安2・時期不明1)	土師器・須恵器					瓦	「秋首」?の墨書土器	大谷弘幸他2019『袖ヶ浦市文蔵遺跡 主要地方道千葉鴨川線(袖ヶ浦市高谷)県単道路改良事業埋蔵文化財発掘調査報告書』千葉県教育委員会 千葉県教育委員会埋蔵文化財報告第29集
30	前原遺跡	マエハライセキ	袖ヶ浦市三ツ作字前原1862-12ほか	小櫃川	墓域		●			火葬墓(平安1(第1地点1))	土師器(9世紀)・灰釉陶器(9世紀)						火葬墓には蔵骨器として灰釉陶器が納められ、その中に男性の骨が納められる。	富真嗣史・馬場悠男・梶ヶ山真里2003『前原遺跡』(財)君津都市文化財センター
31	豆作台遺跡第2・5地点	マンサクダイセキダイニゴチテン		久保田川	集落	●	●			方形区画墓(奈良1)	土師器(奈良)、須恵器(奈良)	—	—	—	—	—		稲葉理恵・安藤道由・井上賢・伊藤伸久1999『豆作台遺跡Ⅰ』(財)君津都市文化財センター
32	豆作台遺跡第3地点	マンサクダイサンチテン		久保田川	集落		●			住居(平安1)	土師器(平安)、須恵器(平安)	—	—	—	—	—		稲葉理恵・安藤道由・井上賢・伊藤伸久1999『豆作台遺跡Ⅰ』(財)君津都市文化財センター
33	向山野B遺跡	ムケザンヤビーイセキ	袖ヶ浦市神納字山久保2303-1・2299-4・2299-5の一部	境川	包蔵地	●	●			道路(平安以降1)	土師器・須恵器(奈良・平安)							光江章2003『第2章 向山野B遺跡第5次調査』『平成14年度 袖ヶ浦市内遺跡発掘調査報告書』袖ヶ浦市教育委員会
34	向神納里遺跡 確認調査	ムコウカンノライセキカクニンチュウサ	袖ヶ浦市大竹字向神納里	小櫃川	包蔵地	●	●			火葬墓(2)	土師器(奈良・平安)							稲葉昭智1995『大竹遺跡群Ⅳ一向神納里遺跡・上南原遺跡・狐谷遺跡・大竹古墳群一』(財)君津都市文化財センター
35	向神納里遺跡 第1地点	ムコウカンノライセキダイチチテン	袖ヶ浦市大竹字向神納里	小櫃川	墓域	●	●			方形区画墓(7)、火葬墓(2)	土師器(奈良・平安)							稲葉昭智1995『大竹遺跡群Ⅳ一向神納里遺跡・上南原遺跡・狐谷遺跡・大竹古墳群一』(財)君津都市文化財センター
36	向神納里遺跡 第3地点	ムコウカンノライセキダイサンチテン	袖ヶ浦市大竹字向神納里	小櫃川	墓域	●	●			方形区画墓(9)、火葬墓(2)、土坑墓(5)	土師器(奈良・平安)		管玉	鉄製品(刀子)				稲葉昭智1995『大竹遺跡群Ⅳ一向神納里遺跡・上南原遺跡・狐谷遺跡・大竹古墳群一』(財)君津都市文化財センター
37	向神納里遺跡 第2地点	ムコウカンノライセキダイニチテン	袖ヶ浦市大竹字向神納里	小櫃川	墓域	●	●			方形区画墓(2)、火葬墓(1)、土坑墓(1)						ガラス製品(ガラス玉)		稲葉昭智1995『大竹遺跡群Ⅳ一向神納里遺跡・上南原遺跡・狐谷遺跡・大竹古墳群一』(財)君津都市文化財センター
38	八重門田遺跡	ヤエムタイセキ	袖ヶ浦市字代宿五反田844ほか	浜宿川	集落、生産址、 墓域	●	●			住居(14)、掘立柱建物跡(1)、鍛冶工房跡(4)、方形墳墓(1)、方形区画墓(3)、土坑墓(1)、土坑(14)	土師器・須恵器・灰釉陶器	支脚・須恵器転用硯・羽口	砥石	鉄製品(鉄鏝・刀子・釘)			奈良・平安時代の鍛冶工房を検出した。	豊巻幸正・萱野章宏・大谷尊・飯田茂雄・矢田美和子2005『一千葉県袖ヶ浦市一 袖ヶ浦市の森工業団地内埋蔵文化財調査報告書 第三分冊 八重門田遺跡』
39	八重門田遺跡	ヤエムタイセキ	袖ヶ浦市久保田代宿入会地字木ノ根坂代11-1-5他	久保田川	包蔵地 集落跡	●	●			住居(奈良1、平安1)、方形区画墓(奈良・平安4)、円形区画墓(奈良・平安1)	土師器・須恵器			鉄製品(刀子・穂積具)、青銅製品(帯金具)				金丸誠他2018『袖ヶ浦市定使山遺跡・八重門田遺跡・清水川台遺跡(2) 袖ヶ浦市の森工業団地整備事業埋蔵文化財発掘調査報告書』千葉県教育委員会 千葉県教育委員会埋蔵文化財報告第26集
40	谷ノ台遺跡(4)	ヤツノダイセキ(ヨン)	袖ヶ浦市神納字谷ノ台2886-1ほか	小櫃川	墓域	●	●			方形区画墓(奈良・平安4)、土坑墓(奈良・平安14)、火葬墓(奈良・平安1)	土師器・須恵器・灰釉陶器(奈良・平安)			鉄製品(釘)			遺構の時期は古墳時代終末~平安時代とされる。鉄釘は火葬墓の蔵骨器外から出土した。	能城秀喜1997『一千葉県袖ヶ浦市一 谷ノ台遺跡Ⅱ』(財)君津都市文化財センター
41	雷塚遺跡	ライヅカイセキ	袖ヶ浦市神納字雷塚4136-2ほか	境川	集落、墓域	●	●			住居(50)、掘立柱建物(9)、方形区画墓(10)、火葬墓(2)	土師器(畿内産土師器・甲斐型坏)・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器	支脚・転用砥石・土鐘・紡錘車・羽口・土玉	砥石・浮子・紡錘車・勾玉	鉄製品(刀子・鉄鏝・鎌・釘・紡錘車・鋤・板状鉄製品)、青銅製品(神功開寶)	貝(アサリ・ハマグリ・シオフキ・カガミガイ・サルボウ・オオノガイ・バカガイ・オキシジミ・キサゴ・ウミナ・ツメタガイ・ニシガイ・カキ・マテガイ・ヒメムシロ)		古墳時代後期から継続する奈良・平安時代の集落。古墳終末期の方墳検出。奈良・平安の方形区画墓の主体部から板状鉄製品出土。同方形区画墓の裏込めとして貝が利用される。「海上」の墨書土器出土。	富真紀子1999『雷塚遺跡』(財)君津都市文化財センター

議題（3） 指定文化財案内板の設置について

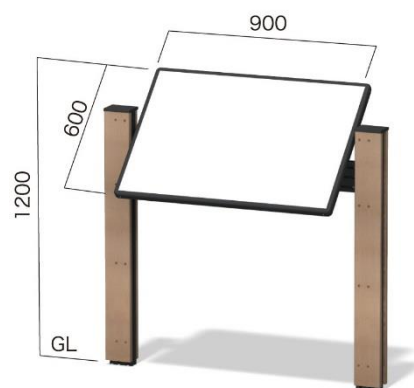
提案理由

今年度、令和元年の台風により破損し撤去した「松見寺虚無僧墓碑」の指定文化財案内板を設置する予定です。

つきましては、案内板の文面等内容について、委員に意見を求めるものです。



令和元年度撮影(案内板は、現在では撤去済み)



オスロRWG-4、表示有効寸法W884 mm×H584 mm

令和4年4月撮影(新設案内板のイメージ)

袖ヶ浦市指定有形文化財 第二六号 「記念物 史跡」

松見寺 虚無僧 墓碑

所在地 袖ヶ浦市三黒字定西大縄四一七

管理者 御鉾神社

指定年月日 平成一四年二月六日

松見寺は、木更津市上望陀の長徳寺に残る歴代住職の過去帳から、寛永年間（江戸時代前期 一七世紀前半頃）に創建されたと考えられる。また、虚無僧寺で有名な一月寺（松戸市小金）の末寺の一つにあたる。

虚無僧は、禅宗の一派の普化宗に属する有髪の僧で、天蓋と呼ぶ深編み笠をかぶり首に袈裟をかけ、尺八を吹いて諸国を托鉢し、修行した。

江戸幕府は、延宝五年（一六七七年）に虚無僧寺院の法度を定め、武士と同等の特権を与え支配した。江戸時代中期には制度として確立したが、神谷軒が関係する仙石騒動（出石藩・兵庫県出石のお家騒動）の影響で、弘化三年（一八四六年）以降それまで認められていた特権が廃止となり、すべての僧侶と同じ扱いを受けるようになった。

平成二一年三月

袖ヶ浦市教育委員会



政四廿年（八二生）
 松見前住瑞然政南和尚位
 三月十七日

(名題) 源三郎
 磨三衛門
 寛保十七年（七三年）
 戒雲盛光首座位
 五月十三日

安迦海心和尚 承応四年五月五日（六五五）
 三匠露月和尚 天和元年十一月四日（六八二）
 本空一無和尚 元禄元年九月廿日（六九一）

(名題) 行年六十五歳

(名題) 水右衛門
 順説

秀光
 忠兵衛門
 松見寺

※ 寛保十七年（七三年）
 松見寺住持 一三二 徳島県立歴史民俗資料館蔵

政四廿年（八二生）三月七日田代明徳院元
 天和元年（七〇年）
 元禄四年（六九一）

凡例 旧字・異体字等は、新字に改めた

※承応四年天
 承応三年 甲午 一六五四年
 承応四年・明暦元年 乙未 一六五五年

旧案内板 銘板（生涯学習課 文化財収蔵庫にて保管中）

※単色写真



松見寺虚無僧墓碑

- ①
- ・安迦海心和尚 承応4(1655)年4月15日没
 - ・三廣露月和尚 天和元(1681)年12月1日没
 - ・本空一無和尚 元禄4(1691)年9月9日没
- ②戒雲盛光首座品位 享保17(1732)年5月13日没
- ③靖然政甫和尚品位 文政4(1821)年3月27日没
(松見寺の住職)

※首座は修行僧の中で第一位を勤める者、品位は僧侶の位階。

令和11年11月

袖ヶ浦市教育委員会

刻まれています。

この三基の墓碑には、江戸時代の承応四(二六五五)年から文政四(二八二二)年までの間に死亡した五人の虚無僧の名が

刻まれています。

刻まれています。諸国を托鉢して修行しました。虚無僧は、普化宗(禅宗の一派)に属する有髪の僧で、天蓋と呼ばれる深編み笠をかぶり、首に袈裟をかけて尺八を吹き、

戦争の際に焼失したと考えられています。

かつてこの場所にあった松見寺は、虚無僧寺として有名な一月寺(松戸市小金)の末寺で、江戸時代前期の寛永年間(二六二四〜一六四四年)に創建され、明治元(二八六八)年の戊辰

指定年月日 平成十四年二月六日
管理者 御鉾神社

袖ヶ浦市指定文化財第二十六号 — 記念物 史跡 —
松見寺虚無僧墓碑
所在地 袖ヶ浦市三黒字定西大縄四一七
吾妻神社
指定年月日 平成十四年二月六日

報告（3）その他

1）郷土博物館市民学芸員郷土を学ぶ会による袖ヶ浦市寺社奉納額調査について

提案理由

郷土博物館市民学芸員郷土を学ぶ会が実施している袖ヶ浦市内の寺社奉納額調査の現状について報告し、今後の調査方法等について委員に意見を求めるものです。

なお、今回は調査内容のうち、久保田地区の正福寺と三ツ作地区の三ツ作神社について報告を行うものです。

（審議会当日、郷土を学ぶ会担当者が写真を用いて説明させていただく予定です）

次ページ一覧参照。

議題(4) その他 1) 袖ヶ浦市寺社奉納額データー

単位：c m

No	写真77/4/N o	地区	所在地	寺社	名称	(*1996年報告書参考)	年代	西暦	法量	縦	横	作者	備考
1	正福寺1	長浦	久保田	正福寺	唐人三人図		明治4	1871	実測	128.5	169	襄國有水	下総蘇我野道上町17名中・下町各1名
2	正福寺2	長浦	久保田	正福寺	来迎図		文化1	1804	実測	82	52	木更津北町 幸崎喜兵衛	
3	正福寺3	長浦	久保田	正福寺	難船救難図				実測	89	53	□□村 □□□□	
4	正福寺4	長浦	久保田	正福寺	陣中の秀吉図		明治4	1871	実測	57	76	印字不明	
5	正福寺5	長浦	久保田	正福寺	牛若丸鞍馬山修行図				実測	77	91	雪郡等以下不明	雪山堤等義門人 奉納 西野村 斎藤完治郎
6	正福寺6	長浦	久保田	正福寺	牛若丸と弁慶図				実測	66	80		下総國千葉郡 千葉道場 豆腐屋種吉
7	正福寺7	長浦	久保田	正福寺	高野山参拝記念図		昭和15	1940	目測	60	80	長壽齋政信	姉崎町際物師大黒屋 7人の名
8	正福寺8	長浦	久保田	正福寺	高野山参拝記念図		昭和14	1939	実測	63	84	雪山堤等義以下不明	姉崎口 本區4名 瀧宿3名 湯?津村1名
9	正福寺9	長浦	久保田	正福寺	國札第貳拾五番札所		文化9	1812	目測	42	100		奉納明治4年(1871) 姉崎町斎藤以下不明
10	正福寺10	長浦	久保田	正福寺	天の岩戸図				実測	70	49.5	不明花押あり	□□藤田直吉
11	正福寺11	長浦	久保田	正福寺	上総國新四國八十八ヶ所第三十五番		明治45	1912	実測	27	43		御詠歌 東京市本所區若宮町 施主中村才吉
12	正福寺12	長浦	久保田	正福寺	御詠歌額		享和4	1804	実測	72	109	近藤邦彦	淺?竹御蔵前 願主坂倉屋栄助
13	正福寺13	長浦	久保田	正福寺	御詠歌額		文政6	1823	目測	38	63		上総國札所開設第二十八番 願主?村2名 ?村1名
14	正福寺14	長浦	久保田	正福寺	連騎図				実測	52	77		紙 願主以下不明
15	正福寺15	長浦	久保田	正福寺	錢貼り付ケ図		大正6	1917	実測	33	45.5		一心 印旛郡千代田村長岡 高橋氏
16	正福寺16	長浦	久保田	正福寺	錢貼り付ケ図				実測	57	25.5		笠上山 願主近藤増太郎
17	正福寺17	長浦	久保田	正福寺	牛若丸と弁慶図		明治33	1900	実測	115	184		下総國千葉郡蘇我町菅我野 世話人高橋三治郎 古山林蔵 寄附人名29名
18	正福寺18	長浦	久保田	正福寺	鳳凰図		明治40	1907	実測	65.5	46.5	蘆薈?	額に鈔文読み切れず
19	正福寺19	長浦	久保田	正福寺	楯籠弓張月図		明治30	1897	実測	122	169		千葉郡蘇我町今井□ 世話人新田文吉 完倉秀吉 高橋久七 寄附者多数
20	正福寺20	長浦	久保田	正福寺	牛若丸鞍馬山修行図		明治25	1892	実測	81.5	115	今井東雲	世話人高橋以下不明 千葉郡以下不明 今井 寄附者19名
21	正福寺21	長浦	久保田	正福寺	女拝み図		明治29	1896	実測	37	47		願主須原
22	正福寺22	長浦	久保田	正福寺	蟻信鼓くぐり図		安政4	1857	実測	47	74.5		
23	正福寺23	長浦	久保田	正福寺	連騎図				実測	52	77		□□□□□□村 杉野市□□
24	正福寺24	長浦	久保田	正福寺	男拝み図		明治26	1893	実測	56.5	76		下総國千葉郡郡村加普利区 海保徳太郎
25	正福寺25	長浦	久保田	正福寺	奉天占籠図		明治28	1895	実測	56.5	72.5		当□近藤善代五郎 奉納ノ羅成就
26	正福寺26	長浦	久保田	正福寺	式内宿禰探湯図				実測	57.5	68.5		下総國千葉郡今井以下不明 布施以下不明
27	正福寺27	長浦	久保田	正福寺	神功皇后と式内宿禰図		明治15	1882	実測	49.5	64.5		千葉郡菅我野村 錢屋□□右平門
28	正福寺28	長浦	久保田	正福寺	神功皇后と式内宿禰図		明治40	1907	実測	46.5	56.5		千葉縣□□郡市東村 村良石井菊治郎
29	正福寺29	長浦	久保田	正福寺	寺社参詣図		明治9	1876	実測	47.5	55.5		下総國菅我郡菅我野□□ □□□□
30	正福寺30	長浦	久保田	正福寺	正福寺参拝行列図		大正2	1913	実測	56.5	88.5		新移西園休父靈場眼式當時實景 □□□□請中 当區濱宿山下信次郎
31	正福寺31	長浦	久保田	正福寺	夫婦拝み図				実測	46	58		正船晋 千葉縣千葉郡□□坂月 □□喜一郎 いち
32	正福寺32	長浦	久保田	正福寺	俵藤太秀綱百足退治図				実測	42	57.5	東雲	今井 布施七郎
33	三ツ作神社1	根形	三ツ作	三ツ作神社	大和武尊熊襲退治図		明治		目測	80	100	姉崎齋	奉獻 齋□
34	三ツ作神社2	根形	三ツ作	三ツ作神社	大和武尊熊襲退治図				目測	80	100	静々堂赤浜	奉納
35	三ツ作神社3	根形	三ツ作	三ツ作神社	三山略図月山羽黒山湯殿山図		大正2	1913	目測	75	90	姉崎齋雪山堤等義	齋□ 奉獻 露崎常吉他4名
36	三ツ作神社4	根形	三ツ作	三ツ作神社	出羽三山参拝記念図		昭和48	1973				山田豊	湯殿山大神 月山大神 羽黒山大神 奉納 丹治一他8名
37	三ツ作神社5	根形	三ツ作	三ツ作神社	牛若丸と弁慶図		明治		目測	66	100		奉納 消えかけた2名 消えかけた橋上
38	三ツ作神社6	根形	三ツ作	三ツ作神社	三作神社額								消えかけた文字
39	三ツ作神社7	根形	三ツ作	三ツ作神社	□□□□額								奉獻 尾高鎮男他7名
40	三ツ作神社8	根形	三ツ作	三ツ作神社	安宅園所弁慶勅進帳通図		昭和4	1929	目測	90	100	姉崎齋提義翁	
41	三ツ作神社9	根形	三ツ作	三ツ作神社	? (黒色)								
42	三ツ作神社10	根形	三ツ作	三ツ作神社	三山参拝記念祇川橋須賀津臺図		大正10	1921	目測	80	93	姉崎齋	月山 羽黒山 湯殿山 奉獻 5名
43	三ツ作神社11	根形	三ツ作	三ツ作神社	富士登山記念図		昭和4	1929	目測	90	150	際物師大黒屋	奉納 在原新次他3名
44	三ツ作神社12	根形	三ツ作	三ツ作神社	高砂図 三山参拝記念		昭和12	1937	目測	90	150	□□□□□□	尾高宗太郎他7名
45	三ツ作神社13	根形	三ツ作	三ツ作神社	天の岩戸図				目測	90	150	□□□□□□	
46	三ツ作神社14	根形	三ツ作	三ツ作神社	伊勢両宮□□参拝記念図		大正		目測	120	180	姉崎齋雪山堤等義	天照坐皇神宮 豊受大神宮 奉獻 當区5名
47	三ツ作神社15	根形	三ツ作	三ツ作神社	弁慶道を開く図				目測	120	180	雪山堤等風	雪舟14世 鈴木口蔵他3名
48	三ツ作神社16	根形	三ツ作	三ツ作神社	祝儀奉納写真額		昭和60	1985					
49	三ツ作神社17	根形	三ツ作	三ツ作神社	職寄附者一覽額								
50	三ツ作神社18	根形	三ツ作	三ツ作神社	三山参拝記念写真額		昭和37	1962					
51	三ツ作神社19	根形	三ツ作	三ツ作神社	三ツ作行屋写真額								
52	三ツ作神社その他	根形	三ツ作	三ツ作神社	その他の額?								

2) 率土神社の棟札について

提案理由

率土神社氏子総代より、率土神社で発見された棟札を指定文化財に指定できないかとの依頼がありました。

つきましては、本資料をご確認いただくとともに、本資料の継続調査の必要性について委員に意見を求めるものです。

率土神社棟札

年代：延宝6

(1678)年

長さ：95.2cm

幅：31.5cm

厚さ：1.5cm

素材：松

※近世に129.6cm×
33.0cm松板を補強

※現在、率土神社
史料殿で保管中

○郷土博物館職員の 所見

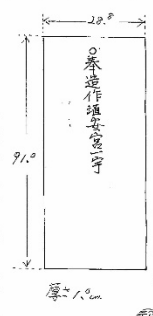
・当時の率土神社が「埴安宮」と記載されていることがわかる。市指定文化財「率土神社縁起」では「率土明神」と記載されていることから、率土神社縁起の成立がこの棟札制作よりも後になる可能性がある。率土神社縁起成立年代推定の参考資料になるのではないか。ただし、率土神社縁起は江戸時代初期の写本で、成立は室町時代かとされているが。



率土神社棟札（正）写真

・棟札の写しが制作されているが、写しを制作することはよくあることなのか。

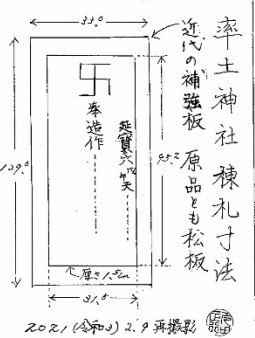
○奉
右 白 虎 左 清 龍
作 于 時
後 壇 前 延 寶
玄 朱 寶
武 安 雀 六
天 戊 午
御 宮 下 天
地 四 三
頭 一 代 月
領 天 吉
堀 户 葛 宇 征 下 祥
田 田 木 神 大 泰 日
對 備 亦 主 將 平 國
馬 後 右 渡 軍 土 豐
守 守 衛 門 邊 源 家 樂
組 組 門 豐 前 綱 鄉
御 御 力 力 守 公 中 繁
同 同 名 主 廣 昌
多 多 関
田 田
惣 兵 左
右 庫 兵
衛 衛
門 門
露 惣
屋 産
惣 子
右 衛 門 中



率土神社棟札(写)書き起こし

(墨書)

奉
右 白 虎 左 清 龍
作 于 時
後 壇 前 延 寶
玄 朱 寶
武 安 雀 六
天 戊 午
御 宮 下 天
地 四 三
頭 一 代 月
領 天 吉
堀 户 葛 宇 征 下 祥
田 田 木 神 大 泰 日
對 備 亦 主 將 平 國
馬 後 右 渡 軍 土 豐
守 守 衛 門 邊 源 家 樂
組 組 門 豐 前 綱 鄉
御 御 力 力 守 公 中 繁
同 同 名 主 廣 昌
多 多 関
田 田
惣 兵 左
右 庫 兵
衛 衛
門 門
露 惣
屋 産
惣 子
右 衛 門 中



延宝6(1678)

率土神社棟札(正)書き起こし

3) 令和4年度袖ヶ浦市文化財審議会の日程について

日 時	内 容	場 所
6月2日(木) 午後1時30分 ～	議題 (1) 令和4年度文化財保護事業について (2) 袖ヶ浦市指定文化財の候補について (3) 指定文化財案内板の設置について (4) その他 報告 (1) 令和3年度文化財保護事業の報告について (2) 令和3年度文化財審議会実績	旧館3階大会議室
8月4日(木) 午後1時30分 ～	議題案 (1) 袖ヶ浦市指定文化財候補について	旧館3階大会議室
11月24日(木) 午後1時30分 ～	議題案 (1) 袖ヶ浦市指定文化財候補について	旧館3階大会議室
3月2日(木) 午後1時30分 ～	議題案 (1) 令和5年度事業の方向性について (2) 袖ヶ浦市指定文化財候補について	旧館3階大会議室

※上記の日時、議案、開催場所については変更する可能性がありますので、ご承知おき願います。

3) 令和4年度袖ヶ浦市文化財審議会の日程について

日 時	内 容	場 所
6月2日(木) 午後1時30分 ～	<p>議題</p> <p>(1) 令和4年度文化財保護事業について</p> <p>(2) 袖ヶ浦市指定文化財の候補について</p> <p>(3) 指定文化財案内板の設置について</p> <p>(4) その他</p> <p>報告</p> <p>(1) 令和3年度文化財保護事業の報告について</p> <p>(2) 令和3年度文化財審議会実績</p>	旧館3階大会議室
8月4日(木) 午後1時30分 ～	<p>議題案</p> <p>(1) 袖ヶ浦市指定文化財候補について</p>	旧館3階大会議室
11月24日(木) 午後1時30分 ～	<p>議題案</p> <p>(1) 袖ヶ浦市指定文化財候補について</p>	旧館3階大会議室
3月2日(木) 午後1時30分 ～	<p>議題案</p> <p>(1) 令和5年度事業の方向性について</p> <p>(2) 袖ヶ浦市指定文化財候補について</p>	旧館3階大会議室

※上記の日時、議案、開催場所については変更する可能性がありますので、ご承知おき願います。

報告（１） 令和３年度文化財保護事業の報告について

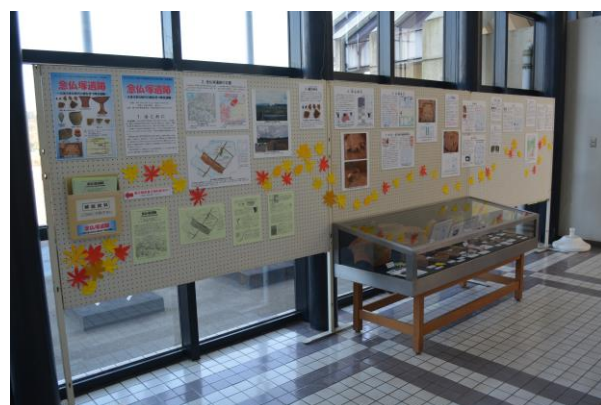
No.	事業名 【事業費当初予算額】	目的・内容	時期
1	文化財審議会関係費 【227千円】	指定文化財候補審議 ○打越岱遺跡出土土偶諮問、答申、指定 ○指定文化財案内板の設置について （上之山古墳・文脇遺跡） ○登録有形文化財候補物件について （報告（２）令和３年度袖ヶ浦市文化財審議会実績参照）	定例会 4回
2	総合的な文化財の保存・活用事業 【5,618千円】	○指定文化財補助金（維持管理・保険料） ○指定文化財等維持管理委託（坂戸神社の森維持管理） ○出土品再整理、公開展示 ○鉄製品保存処理 ○文化財調査研究	通年
		（民俗・芸能関連） 袖ヶ浦市民俗芸能連絡協議会活動支援	通年
		（埋蔵文化財公開活用関連） 令和３年度は、出土品の再整理、再整理した出土品等の展示、出土した鉄製品の保存処理、文化財案内看板の立替を実施しました。 ○出土品再整理 ●念仏塚遺跡（所在地：岩井） 主な出土品：縄文時代～平安時代土器、中世陶磁器 ●鼻欠遺跡（所在地：神納） 主な出土品：古墳時代土器・鉄製品 ●向山野遺跡（所在地：神納） 主な出土品：弥生時代～古墳時代土器 ●打越岱遺跡（所在地：上泉） 主な出土品：旧石器時代石器、縄文時代～平安時代土器 ●西萩原遺跡（所在地：上泉） 主な出土品：縄文時代土器 ●進藤家宅地内遺跡（所在地：蔵波） 主な出土品：近世陶磁器・鉄製品 ●上之山古墳（所在地：永地） 主な出土品：弥生時代～古墳時代土器 ●水神下遺跡（所在地：奈良輪） 主な出土品：古墳時代土器 ●中六遺跡（所在地：蔵波） 主な出土品：縄文時代・古墳時代土器	通年

		<p>○公開展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「The Culture 5 念仏塚遺跡 ―さまざまな時代の顔を持つ複合遺跡―」 開催日：令和3年11月6日～18日 会場：平岡公民館 1階ロビー 資料配布数200枚 <p>○文化財案内板の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上之山古墳（所在地：永地） ●文脇遺跡（所在地：野里） <p>○保存処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●雷塚遺跡（所在地：神納） 処理鉄製品：古墳時代短刀1点 ●椿古墳群（所在地：大鳥居） 処理鉄製品：古墳時代直刀1点 	
3	埋蔵文化財整理棟施設管理事業 【695千円】	○埋蔵文化財整理棟維持管理費	通年
4	埋蔵文化財調査事業 【22,526千円】	<p>発掘調査4件、発掘調査報告書1冊を刊行しました。 （当日、発掘調査報告書配布）</p> <p>○発掘調査を行った遺跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宮ノ後遺跡第5次・中ノ台古墳群（確認調査） 所在地：神納 時代：縄文時代・弥生時代・古墳時代・近世 検出遺構：弥生時代竪穴住居6軒、土坑1基、近世溝状遺構1条 出土遺物：縄文土器・弥生土器・古墳時代土師器 ●山野貝塚第9次（確認調査） 所在地：飯富 時代：縄文時代 検出遺構：縄文時代竪穴住居3軒 出土遺物：縄文時代土器・石器 ●笹田遺跡（確認調査） 所在地：大竹 時代：縄文時代・弥生時代 検出遺構：縄文時代竪穴住居1軒・炉穴1基、道路跡1条 出土遺物：縄文土器・石器・礫、弥生土器 ●宮ノ後遺跡第6次（本調査） 所在地：神納 時代：縄文時代・弥生時代・古墳時代 検出遺構：弥生時代～古墳時代竪穴住居10軒、土坑1基 出土遺物：弥生時代土器・石器、不明鉄製品 	通年

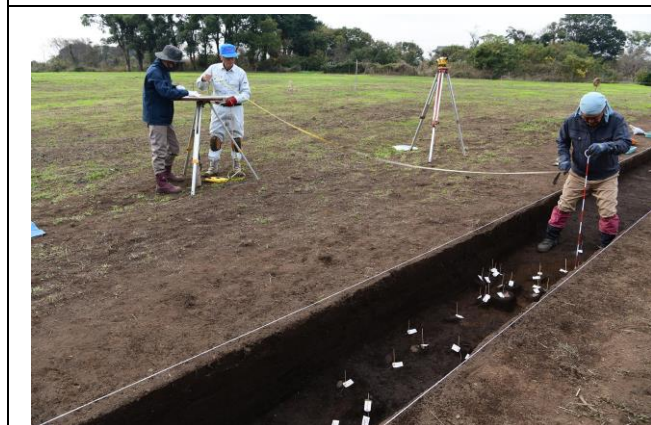
5	山野貝塚保存活用事業 【27,562 千円】	○山野貝塚用地取得 ●用地測量委託 期間：令和3年4月23日～11月12日 ●補償物件調査委託 期間：令和3年5月20日～9月30日 ●2筆、403 m ² （公簿面積）の用地取得 ○山野貝塚周知活動 ●令和3年度山野貝塚講演会「山野貝塚のこれからを探る」 日時：令和4年1月29日 会場：市民会館（書面開催） 山野貝塚講演会発表要旨印刷製本 500部 山野貝塚講演会ポスター・チラシ印刷 ポスター：300枚、チラシ：3,000枚 ●山野貝塚ボランティア講座 1期生6回開催 15名登録 2期生4回開催 5名登録	通年
---	---------------------------	---	----



公開展示の様子



公開展示の様子



発掘調査風景（山野貝塚）



発掘調査風景（宮ノ後遺跡・中ノ台古墳群）

報告（２） 令和３年度袖ヶ浦市文化財審議会実績

日 時	内 容	場 所
5月20(木) 13:30~14:55	報告 （１）令和２年度文化財保護事業の報告について （２）令和２年度文化財審議会実績 議題 （１）令和３年度文化財保護事業について （２）袖ヶ浦市指定文化財案内板について （３）その他	郷土博物館 研修室 出席者 7名 傍聴人 0名
9月3日(金) 書面開催	議題 （１）指定文化財について （２）山野貝塚の調査について （３）指定文化財案内板の設置について （４）その他	7人
12月16日(木) 13:30~14:40	議題 （１）指定文化財の指定について （２）山野貝塚の調査について （３）指定文化財案内板の設置について （４）その他	旧館3階 大会議室 出席者 7名 傍聴人 0名
3月22日(火) 書面開催	議題 （１）令和４年度文化財保護事業（案）について （２）指定文化財候補物件について （３）令和４年度文化財審議会日程調整について （４）その他	7人